

弘前市文化芸術振興計画
策定に係るアンケート
結果報告書
【市民編】

令和3年9月
弘 前 市

はじめに

《調査の概要》	・・・	P.1
《本報告書の読み方》	・・・	P.1
《回答者構成表》	・・・	P.2

調査結果概要	・・・	P.4
--------	-----	-----

回答集計結果

◆文化・芸術的な活動や体験について（問1～問5）	・・・	P.5
◆弘前市の文化施設について（問6～問8）	・・・	P.23
◆弘前市の文化振興（地域の文化的環境）について（問9～問15）	・・・	P.30
◆当市の文化芸術と観光との親和性について（問16～問17）	・・・	P.39

はじめに

《調査の概要》

1. 調査の目的

この調査は、文化芸術に関する興味関心や文化芸術活動の状況、行政や市民が担うべき役割について市民が抱えている意識・思いを把握し、計画に反映するため実施しました。

2. 調査の対象

弘前市全域で、住民基本台帳から18歳～75歳までの市民を無作為に抽出し、対象としました。

3. 調査の方法

令和3年1月8日に調査対象者へ調査票を郵送で配布し、同封した返信用封筒により、1月22日（金）までの期限で回収しました。

4. 回収結果

調査対象者1,993人（所在不明による未達分7人を除いて算出）中、回答者は734人で、回収率は36.8%でした。

5. 集計

男女別、年齢別（区分）、世帯構成別（区分）、職業別（区分）、居住年数別（区分）で集計しました。

《本報告書の読み方》

1. 表中の主値は、すべて回答者の割合となっています。

2. 結果数値（%）は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表示していますが、回答者の合計は、100%になるように端数調整をしています。

3. 表中に「-」とあるのは、回答者がいないことを示します。

4. 回答者に複数の回答を求める設問の回答合計は、100%を超えています。

《回答者構成表》

区 分		全体	旧弘前市		旧 岩木町 相馬村	地域 不明
			市街地	出張所 地域		
総 数 (割 合)		734 人 (100%)	601 人 (81.9%)	67 人 (9.1%)	60 人 (8.2%)	6 人 (0.8%)
性 別	男性	311 人 (42.4%)	255 人 (42.4%)	30 人 (44.8%)	25 人 (41.7%)	1 人 (16.7%)
	女性	406 人 (55.3%)	333 人 (55.4%)	36 人 (53.7%)	34 人 (56.7%)	3 人 (50%)
	無回答	17 人 (2.3%)	13 人 (2.2%)	1 人 (1.5%)	1 人 (1.6%)	2 人 (33.3%)
年 齢	10 歳代・ 20 歳代	60 人 (8.2%)	53 人 (8.8%)	5 人 (7.5%)	2 人 (3.4%)	— (—)
	30 歳代	85 人 (11.6%)	67 人 (11.1%)	10 人 (14.9%)	8 人 (13.3%)	— (—)
	40 歳代	119 人 (16.2%)	102 人 (17%)	7 人 (10.4%)	9 人 (15%)	1 人 (16.7%)
	50 歳代	171 人 (23.3%)	136 人 (22.6%)	19 人 (28.4%)	15 人 (25%)	1 人 (16.7%)
	60 歳代	184 人 (25.1%)	147 人 (24.5%)	19 人 (28.4%)	18 人 (30%)	— (—)
	70 歳代以上	112 人 (15.2%)	93 人 (15.5%)	7 人 (10.4%)	8 人 (13.3%)	4 人 (66.6%)
	無回答	3 人 (0.4%)	3 人 (0.5%)	— (—)	— (—)	— (—)
世帯構成	単身世帯	87 人 (11.9%)	83 人 (13.8%)	2 人 (3%)	— (—)	2 人 (33.3%)
	2人世帯 (同棲含む)	195 人 (26.5%)	170 人 (28.3%)	13 人 (19.4%)	12 人 (20%)	— (—)
	核家族	187 人 (25.5%)	165 人 (27.5%)	7 人 (10.4%)	14 人 (23.3%)	1 人 (16.7%)
	2世代同居	165 人 (22.5%)	119 人 (19.8%)	27 人 (40.3%)	17 人 (28.3%)	2 人 (33.3%)
	3世代 以上同居	82 人 (11.2%)	49 人 (8.2%)	17 人 (25.4%)	16 人 (26.7%)	— (—)

	無回答	18人 (2.4%)	15人 (2.5%)	1人 (1.5%)	1人 (1.7%)	1人 (16.7%)
職 業	農林漁業	52人 (7.1%)	14人 (2.3%)	22人 (32.8%)	16人 (26.7%)	— (—)
	自営業・ 経営者	57人 (7.7%)	46人 (7.6%)	3人 (4.5%)	7人 (11.7%)	1人 (16.7%)
	勤め人(会社員・ 公務員・パート)	372人 (50.7%)	316人 (52.6%)	33人 (49.2%)	22人 (36.6%)	1人 (16.7%)
	専業主婦・ 主夫	87人 (11.9%)	76人 (12.6%)	3人 (4.5%)	7人 (11.7%)	1人 (16.7%)
	学生	30人 (4.1%)	28人 (4.7%)	2人 (3%)	— (—)	— (—)
	無職(専業主 婦・主夫除く)	119人 (16.2%)	105人 (17.5%)	4人 (6%)	8人 (13.3%)	2人 (33.3%)
	その他	10人 (1.3%)	9人 (1.5%)	— (—)	— (—)	1人 (16.6%)
	無回答	7人 (1%)	7人 (1.2%)	— (—)	— (—)	— (—)
居住年数 (合併前 の町村 含む)	5年未満	37人 (5.1%)	31人 (5.2%)	1人 (1.5%)	5人 (8.3%)	— (—)
	5年～9年	30人 (4.1%)	26人 (4.3%)	2人 (3%)	2人 (3.3%)	— (—)
	10年～19年	69人 (9.4%)	62人 (10.3%)	4人 (6%)	2人 (3.3%)	1人 (16.7%)
	20年～29年	113人 (15.4%)	98人 (16.3%)	7人 (10.4%)	7人 (11.7%)	1人 (16.7%)
	30年以上	482人 (65.6%)	382人 (63.6%)	53人 (79.1%)	44人 (73.4%)	5人 (50%)
	無回答	3人 (0.4%)	2人 (0.3%)	— (—)	— (—)	1人 (16.6%)

調査結果概要

ここでは、本調査の結果についてのまとめを記載しています。

1. 市民の文化芸術に対する意識

市民の文化芸術に対する主な意識として、以下の4つが見えてきました。

(1) 【文化芸術活動が盛んなまち】

弘前市は文化芸術活動が盛んなまちだと思う方の割合は39.4%となり、思わない方(22.7%)の割合より16.7ポイント高くなりました。

(2) 【伝統的な祭りや歴史的な建造物などの存在が、地域の愛着や誇りとなっている】

「伝統的な祭りや歴史的な建造物などの存在が地域の愛着や誇りとなる」という考え方について、そう思うと答えた方の割合は73.3%でした。文化庁調査(令和元年度)による全国の数字は31.6%となっており、それと比較すると大幅に高く、市民にとっての地域の伝統文化や文化財の存在の大きさがうかがえました。

(3) 【子どもたちの心豊かな成長の一助となる文化芸術】

「弘前の文化芸術が発展するために、まちに必要だと思う要素」として、子どもが文化芸術に触れ、心豊かに成長することと答えた方の割合が47.7%、また、「弘前の文化芸術を振興するために、市民が担うべき役割」について、子どもに文化芸術的な体験をさせ、親しみを持たせると答えた方の割合が43.7%となるなど、子どもが文化芸術を体験することの必要性を重視する市民が多い結果となりました。

(4) 【観光資源としての文化芸術】

市外の友人・知人に紹介する文化芸術的な観光スポットやおすすめの名産品は、「津軽の城郭や歴史的な街並み、文化財、遺跡など」と答えた方の割合が74.6%、「りんご、和菓子、洋菓子、郷土料理など」と答えた方の割合が70.4%となりました。

2. 市民の文化芸術の鑑賞・活動状況

文化芸術活動に取り組んだことのない方の割合は80.8%、令和元年の1年間に市内外を問わず文化芸術を鑑賞しなかった方の割合は34.1%となりました。

その主な要因として、以下の3つが見えてきました。

(1) 【文化芸術の鑑賞・活動に時間をかけられない】

仕事や学業で日々忙しく過ごしているため、そもそも鑑賞や活動をする余裕がない方が多くなりました。

<鑑賞しない理由>仕事や家事で忙しく鑑賞する余裕がない(46.5%)

<活動に取り組んだことがない理由>仕事や学業で時間が取れない(43.2%)

(2) 【気軽に鑑賞・体験する機会がない】

文化芸術の催しの鑑賞や文化芸術の体験を気軽にできる機会がないため、気になっている催しや活動があっても一歩踏み出しづらいという意見が多く挙げられました。

<鑑賞しない理由>気軽に鑑賞する機会が少ない (24.4%)

<活動に取り組んだことがない理由>気軽に体験する機会がない (33%)

(3) 【文化芸術の催し・活動の情報が得られない】

文化芸術の催しや活動がいつどこでどのように開催されているか、その情報が身近に感じられないため、鑑賞や活動への参加できないと思う声が多く挙がりました。

<鑑賞しない理由>催しに関する情報を目にする機会がない (16.7%)

<活動に取り組んだことがない理由>活動に関する情報が得られない (18.4%)

3. 今後の文化芸術振興に求められること

上記の1・2を踏まえ、今後の文化芸術振興においては、特に以下の5点に取り組むことが求められます。

(1) 【様々な文化芸術を鑑賞・活動できる場の確保】

弘前市がますます文化芸術が盛んなまちになるため、より多くの市民が文化芸術の鑑賞・活動に取り組めるよう、多くの個人活動家や文化芸術団体が頻繁に鑑賞や活動ができる場を確保することが求められます。

(2) 【子どもたちが文化芸術に親しむ機会と学びの場を創出】

次の世代を担う子どもたちが心豊かにはぐくまれるために、子どもたちが文化芸術に触れやすいような環境づくりを、行政・市民双方が担っていくことが求められます。

(3) 【市内で行われる文化芸術の開催・活動情報の周知方法の工夫】

文化芸術に取り組む市民が増えるよう、市内で行われる文化芸術の催しや活動について、市民の目に届くように情報を周知する体制づくりが求められます。

(4) 【城郭や歴史的な街並み、文化財、遺跡等の保存・継承】

市民の地域への愛着・誇りの源泉である城郭や歴史的な街並み、文化財、遺跡等を、行政が保存・継承していくことが求められます。

(5) 【弘前市の文化芸術の魅力を内外に幅広く発信】

魅力あふれる弘前市の文化芸術を、より多くの人に知っていただくために、行政が弘前市の文化芸術を市の内外に広く発信することが求められます。

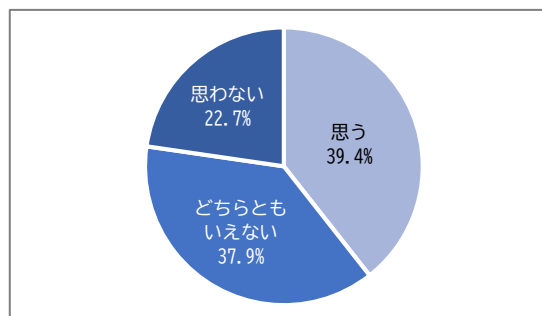
回答集計結果

◆文化・芸術的な活動や体験について

問1 あなたは、弘前市は文化芸術活動が盛んなまちだと思いますか。(回答は1つ)

弘前市は文化芸術が盛んなまちだと思う人の割合は39.4%、思わない人の割合は22.7%となりました。

選択肢	回答数	割合
思う	288	39.4%
思わない	166	22.7%
どちらともいえない	277	37.9%
合計(無回答除く)	731	100%

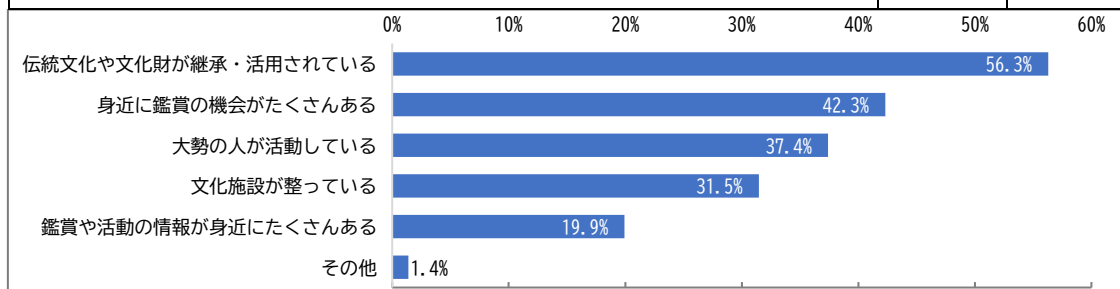


問1-2 問1で「① 思う」を選択された方にお聞きします。

その理由は何ですか。(回答はいくつでも)

弘前市は文化芸術が盛んなまちだと思う理由としては、「伝統文化や文化財が継承・活用されているから(56.3%)」と答えた方が最も多く、次いで「身近に文化芸術鑑賞の機会がたくさんあるから(42.3%)」となりました。

選択肢	回答数	割合
伝統文化や文化財が継承・活用されているから	161	56.3%
身近に文化芸術鑑賞の機会がたくさんあるから	121	42.3%
文化芸術活動が盛んで大勢の人が活動しているから	107	37.4%
文化施設が整っているから	90	31.5%
文化芸術鑑賞や活動の情報が身近にたくさんあるから	57	19.9%
その他	4	1.4%
合計	540	—
回答者数(無回答除く)	286	—

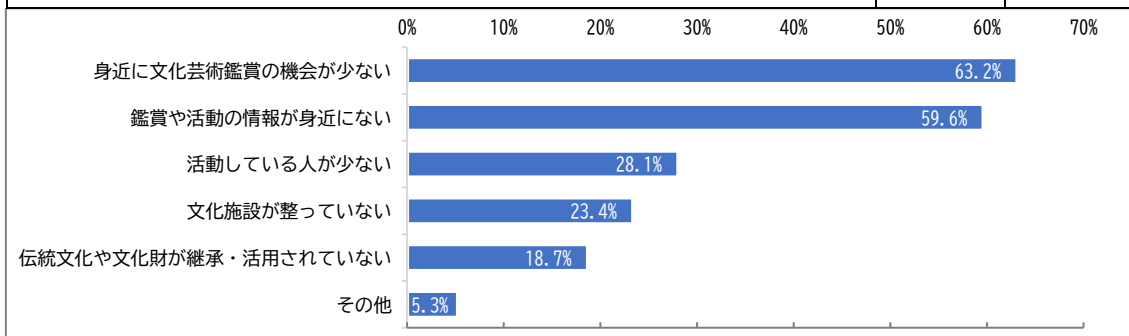


問1-3 問1で「② 思わない」を選択された方にお聞きします。

その理由は何ですか。(回答はいくつでも)

弘前市は文化芸術が盛んなまちだと思わない理由としては、「身近に文化芸術鑑賞の機会が少ないから(63.2%)」と答えた方が最も多く、次いで「文化芸術鑑賞や活動の情報が身近にないから(59.6%)」となりました。

選択肢	回答数	割合
身近に文化芸術鑑賞の機会が少ないから	108	63.2%
文化芸術鑑賞や活動の情報が身近にないから	102	59.6%
文化芸術活動が盛んでなく、活動している人が少ないから	48	28.1%
文化施設が整っていないから	40	23.4%
伝統文化や文化財が継承・活用されていないから	32	18.7%
その他	9	5.3%
合計	339	—
回答者数(無回答除く)	171	—



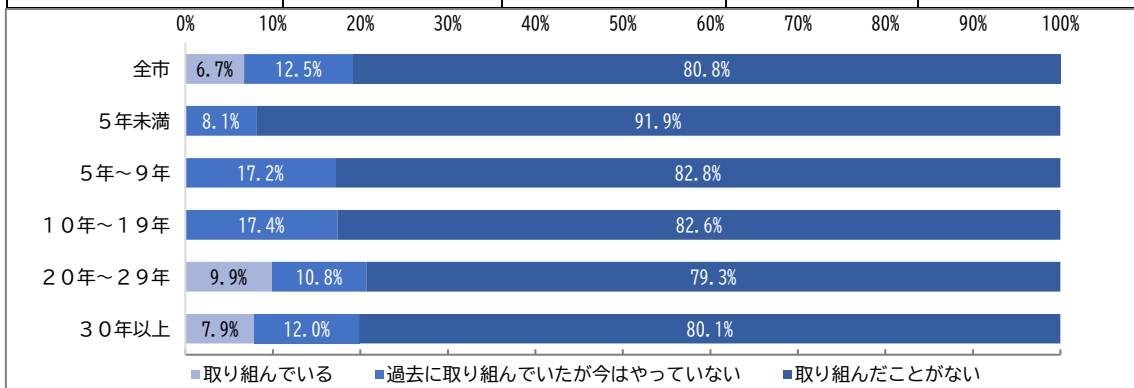
問2 あなたは、現在、文化芸術活動(創作や公演・イベント等の運営、企画、広報、舞台設営業務なども含む)に取り組んでいますか。(回答は1つ)

文化芸術活動への取り組みについて、「取り組んでいる」と答えた方の割合は6.7%、「過去に取り組んでいたが今はやっていない」と答えた方は12.5%、「取り組んだことがない」と答えた方は80.8%となりました。

居住年数別に見ると、20年未満の方で「取り組んでいる」と答えた方はいませんでした。

	回答数 (無回答除く)	取り組んでいる	過去に取り組んでいたが今はやっていない	取り組んだことがない
全体	715 (100%)	48 (6.7%)	89 (12.5%)	578 (80.8%)

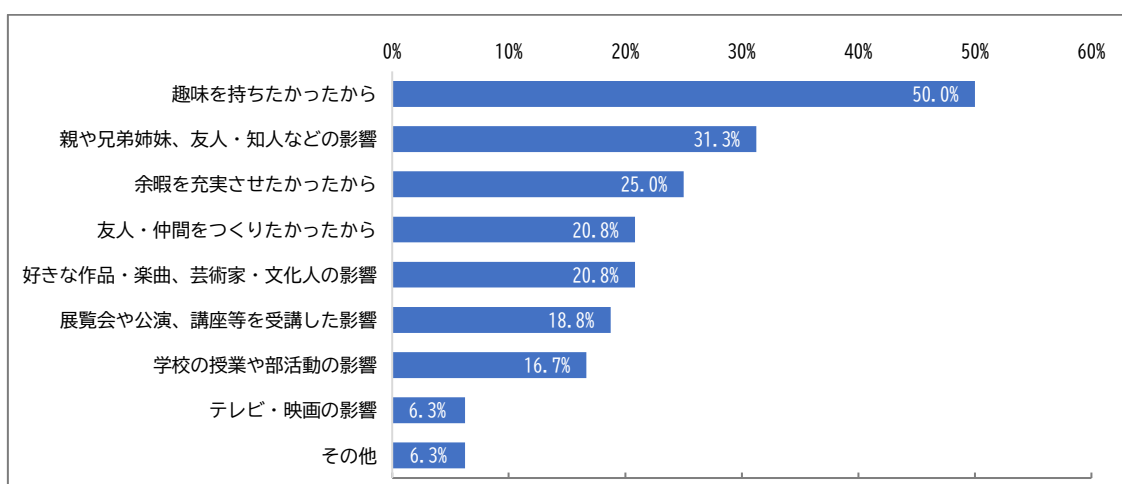
5年未満	37 (100%)	0 (-)	3 (8.1%)	34 (91.9%)
5年～9年	29 (100%)	0 (-)	5 (17.2%)	24 (82.8%)
10年～19年	69 (100%)	0 (-)	12 (17.4%)	57 (82.6%)
20年～29年	111 (100%)	11 (9.9%)	12 (10.8%)	88 (79.3%)
30年以上	467 (100%)	37 (7.9%)	56 (12%)	374 (80.1%)



問2-2 問2で「① 取り組んでいる」を選択された方にお聞きします。
 (1) あなたが文化芸術活動を始めたきっかけは何ですか。(回答はいくつでも)

「趣味を持ちたかったから (50%)」と答えた方が最も多く、次いで「親や兄弟姉妹、友人・知人などの影響 (31.3%)」「余暇を充実させたかったから (25%)」となりました。

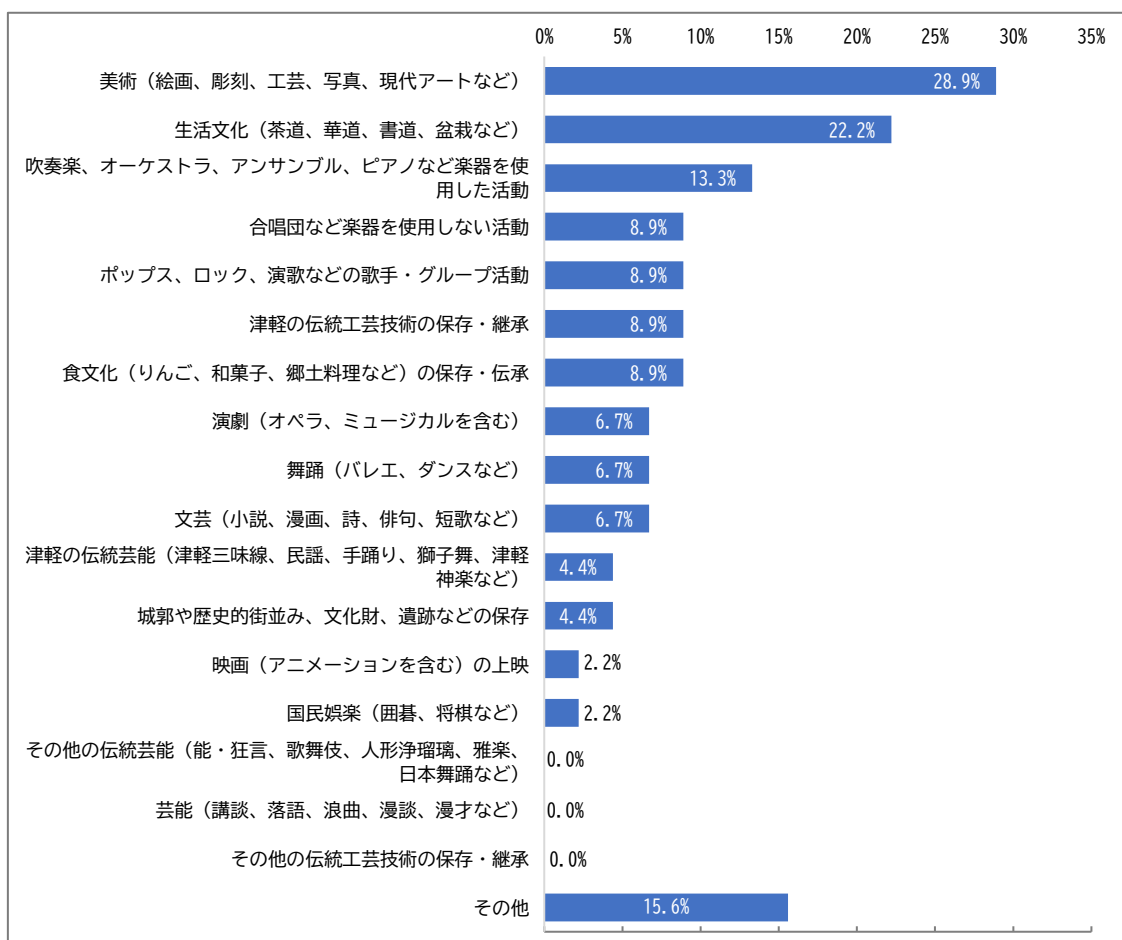
選択肢	回答数	割合
趣味を持ちたかったから	24	50%
親や兄弟姉妹、友人・知人などの影響	15	31.3%
余暇を充実させたかったから	12	25%
友人・仲間をつくりたかったから	10	20.8%
好きな作品・楽曲、芸術家・文化人の影響	10	20.8%
展覧会や公演、講座等を受講した影響	9	18.8%
学校の授業や部活動の影響	8	16.7%
テレビ・映画の影響	3	6.3%
その他	3	6.3%
合計	94	-
回答者数 (無回答除く)	48	-



(2) あなたが取り組んでいる文化芸術分野はどれですか。(回答はいくつでも)

「美術（絵画、彫刻、工芸、写真、現代アートなど）（28.9%）」と答えた方が最も多く、次いで、「生活文化（茶道、華道、書道、盆栽など）（22.2%）」となりました。

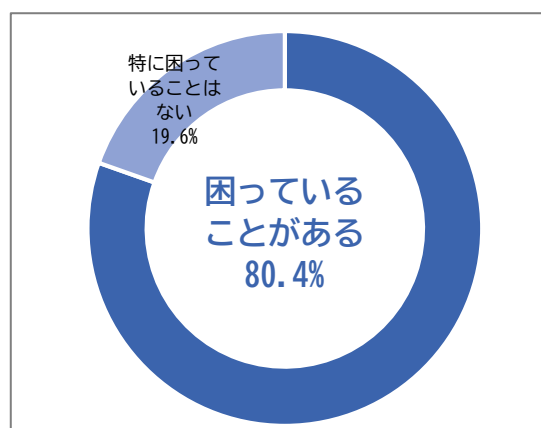
選択肢	回答数	割合
美術（絵画、彫刻、工芸、写真、現代アートなど）	13	28.9%
生活文化（茶道、華道、書道、盆栽など）	10	22.2%
吹奏楽、オーケストラ、アンサンブル、ピアノなど楽器を使用した活動	6	13.3%
合唱団など楽器を使用しない活動	4	8.9%
ポップス、ロック、演歌などの歌手・グループ活動	4	8.9%
津軽の伝統工芸技術の保存・継承	4	8.9%
食文化（りんご、和菓子、郷土料理など）の保存・伝承	4	8.9%
演劇（オペラ、ミュージカルを含む）	3	6.7%
舞踊（バレエ、ダンスなど）	3	6.7%
文芸（小説、漫画、詩、俳句、短歌など）	3	6.7%
津軽の伝統芸能（津軽三味線、民謡、手踊り、獅子舞、津軽神楽など）	2	4.4%
城郭や歴史的街並み、文化財、遺跡などの保存	2	4.4%
映画（アニメーションを含む）の上映	1	2.2%
国民娯楽（囲碁、将棋など）	1	2.2%
その他の伝統芸能（能・狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃、雅楽、日本舞踊など）	0	—
芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才など）	0	—
その他の伝統工芸技術の保存・継承	0	—
その他	7	15.6%
合計	67	—
回答者数（無回答除く）	45	—



（3）あなたが活動する上で困っていることは何ですか。（回答はいくつでも）

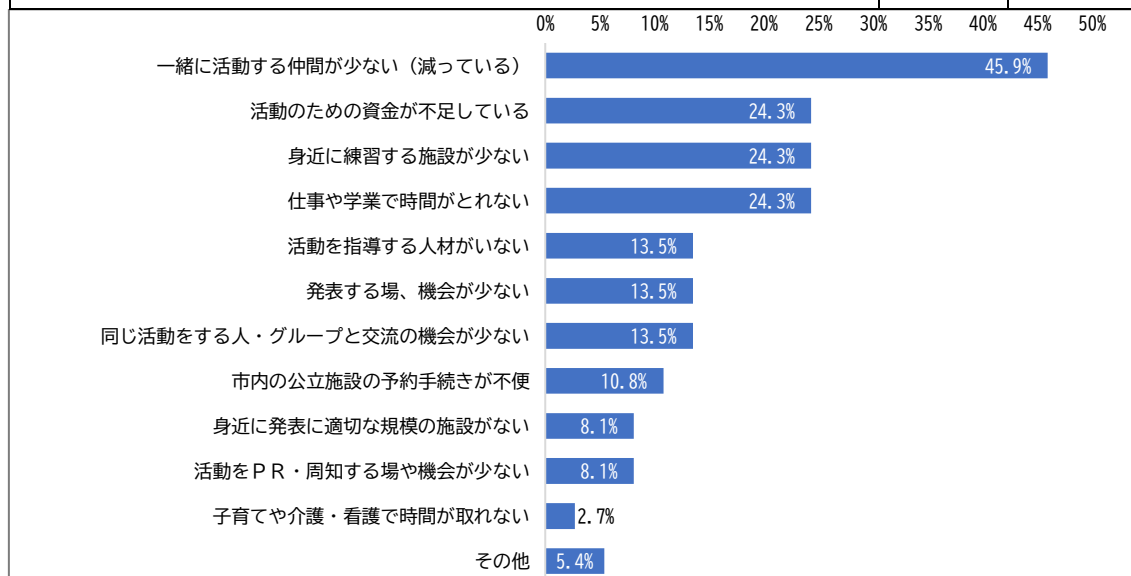
「困っていることがある」と答えた方は 80.4%、「特に困っていることはない」と答えた方は 34.1%となりました。

選択肢	回答数	割合
困っていることがある	37	80.4%
特に困っていることはない	9	19.6%
合計（無回答除く）	46	100%



具体的に困っていることとしては、「一緒に活動する仲間が少ない(減っている) (45.9%)」と答えた方が最も多く、次いで、「活動のための資金が不足している (24.3%)」「身近に練習する施設が少ない (24.3%)」「仕事や学業で時間がとれない (24.3%)」となりました。

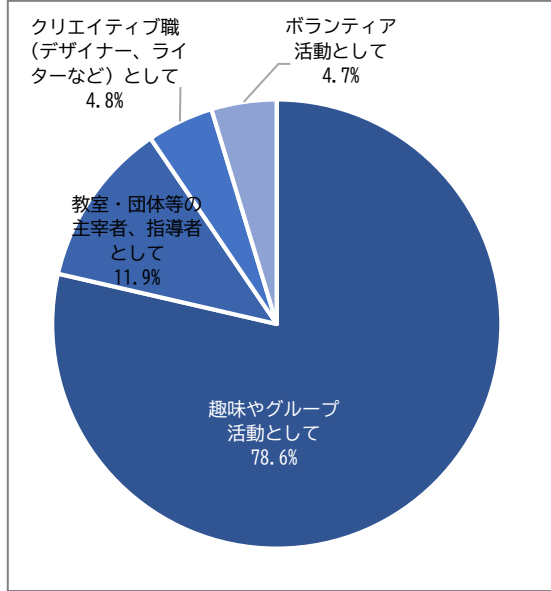
選択肢	回答数	割合
一緒に活動する仲間が少ない(減っている)	17	45.9%
活動のための資金が不足している	9	24.3%
身近に練習する施設が少ない	9	24.3%
仕事や学業で時間がとれない	9	24.3%
活動を指導する人材がいない	5	13.5%
発表する場、機会が少ない	5	13.5%
同じ活動をする人・グループと交流の機会が少ない	5	13.5%
市内の公立施設の予約手続きが不便	4	10.8%
身近に発表に適切な規模の施設がない	3	8.1%
活動をPR・周知する場や機会が少ない	3	8.1%
子育てや介護・看護で時間が取れない	1	2.7%
その他	2	5.4%
合計	72	—
回答者数(無回答除く)	37	—



(4) あなたは、その活動を主にどのようなかたちで取り組んでいますか。(回答は1つ)

「趣味やグループ活動として (78.6%)」と答えた方が全体の75%以上となりました。

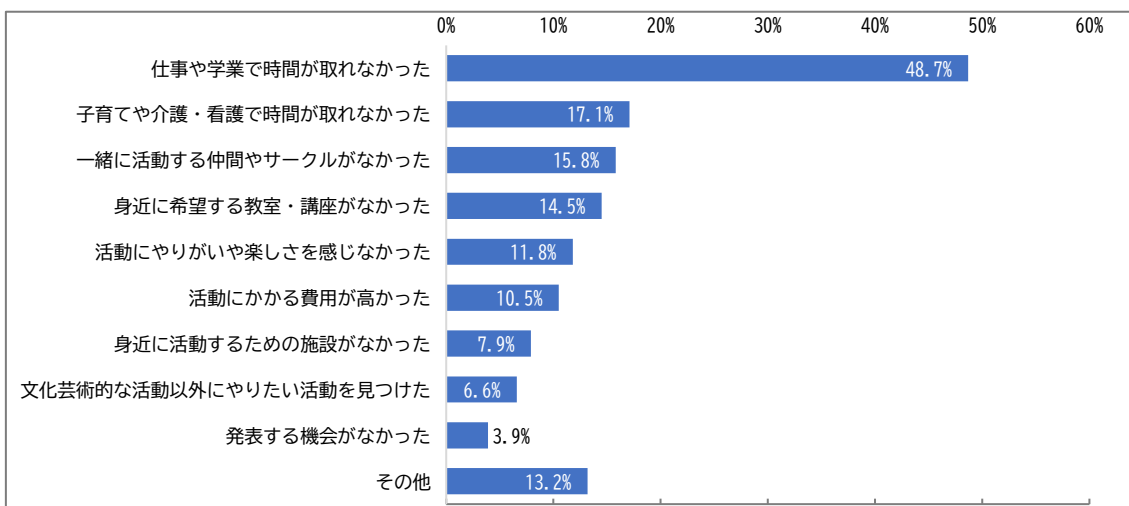
選択肢	回答数	割合
趣味やグループ活動として	33	78.6%
教室・団体等の主宰者、指導者として	5	11.9%
クリエイティブ職(デザイナー、ライターなど)として	2	4.8%
ボランティア活動として	2	4.7%
芸術家・文化人として	0	—
合計(無回答除く)	42	100%



問2-3 問2で「② 過去に取り組んでいたが今はやっていない」を選択された方にお聞きします。
 あなたが、文化芸術活動をやめたきっかけは何ですか。(回答はいくつでも)

「仕事や学業で時間が取れなかった (48.7%)」と答えた方が最も多く、他の選択肢より大幅に高い割合となった。

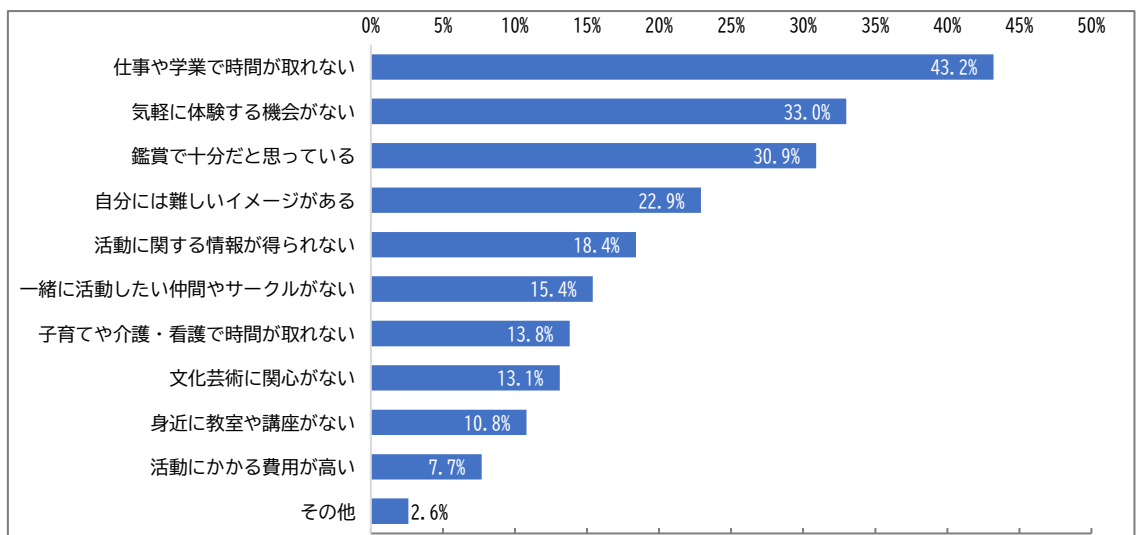
選択肢	回答数	割合
仕事や学業で時間が取れなかった	37	48.7%
子育てや介護・看護で時間が取れなかった	13	17.1%
一緒に活動する仲間やサークルがなかった	12	15.8%
身近に希望する教室・講座がなかった	11	14.5%
活動にやりがいや楽しさを感じなかった	9	11.8%
活動にかかる費用が高かった	8	10.5%
身近に活動するための施設がなかった	6	7.9%
文化芸術的な活動以外にやりたい活動を見つけた	5	6.6%
発表する機会がなかった	3	3.9%
その他	10	13.2%
合計	114	—
回答者数(無回答除く)	76	—



問2-4 問2で「③ 取り組んだことがない」を選択された方にお聞きします。
 あなたが、文化芸術的な活動に取り組んだことがない理由は何ですか。(回答はいくつでも)

「仕事や学業で時間が取れない (43.2%)」と答えた方が最も多く、次いで「気軽に体験する機会がない (33%)」「鑑賞で十分だと思っている (30.9%)」となりました。

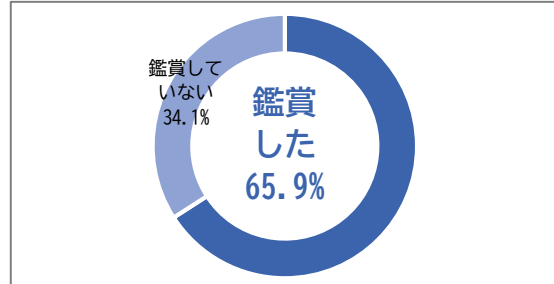
選択肢	回答数	割合
仕事や学業で時間が取れない	247	43.2%
気軽に体験する機会がない	189	33%
鑑賞で十分だと思っている	177	30.9%
自分には難しいイメージがある	131	22.9%
活動に関する情報が得られない	105	18.4%
一緒に活動したい仲間やサークルがない	88	15.4%
子育てや介護・看護で時間が取れない	79	13.8%
文化芸術に関心がない	75	13.1%
身近に教室や講座がない	62	10.8%
活動にかかる費用が高い	44	7.7%
その他	15	2.6%
合計	1,212	—
回答者数 (無回答除く)	572	—



問3 あなたは、令和元年の1年間で、市内外を問わず文化芸術を鑑賞しましたか。(回答はいくつでも) ※オンライン配信の催しなども含みます。

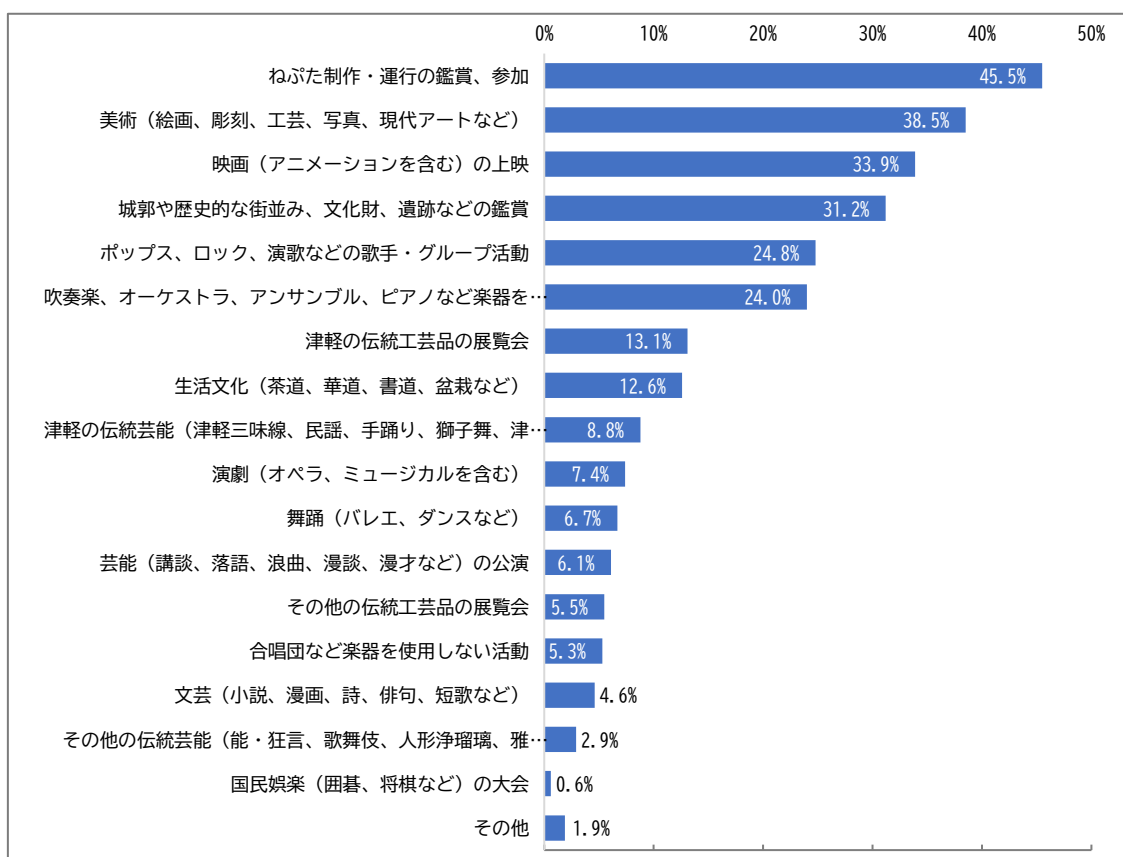
令和元年度の1年間で、文化芸術を「鑑賞した」と答えた方は65.9%、「鑑賞していない」と答えた方は34.1%となりました。

選択肢	回答数	割合
鑑賞した	475	65.9%
鑑賞していない	246	34.1%
合計(無回答除く)	721	100%



鑑賞したジャンル別では、「ねぶた制作・運行の鑑賞、参加(45.5%)」と答えた方が最も多く、次いで「美術(絵画、彫刻、工芸、写真、現代アートなど)(38.5%)」となりました。

選択肢	回答数	割合
ねぶた制作・運行の鑑賞、参加	216	45.5%
美術(絵画、彫刻、工芸、写真、現代アートなど)	183	38.5%
映画(アニメーションを含む)の上映	161	33.9%
城郭や歴史的な街並み、文化財、遺跡などの鑑賞	148	31.2%
ポップス、ロック、演歌などの歌手・グループ活動	118	24.8%
吹奏楽、オーケストラ、アンサンブル、ピアノなど楽器を使用した活動	114	24%
津軽の伝統工芸品の展覧会	62	13.1%
生活文化(茶道、華道、書道、盆栽など)	60	12.6%
津軽の伝統芸能(津軽三味線、民謡、手踊り、獅子舞、津軽神楽など)	42	8.8%
演劇(オペラ、ミュージカルを含む)	35	7.4%
舞踊(バレエ、ダンスなど)	32	6.7%
芸能(講談、落語、浪曲、漫談、漫才など)の公演	29	6.1%
その他の伝統工芸品の展覧会	26	5.5%
合唱団など楽器を使用しない活動	25	5.3%
文芸(小説、漫画、詩、俳句、短歌など)	22	4.6%
その他の伝統芸能(能・狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃、雅楽、日本舞踊など)の公演	14	2.9%
国民娯楽(囲碁、将棋など)の大会	3	0.6%
その他	9	1.9%
合計	1,299	—
回答者数(無回答除く)	475	—

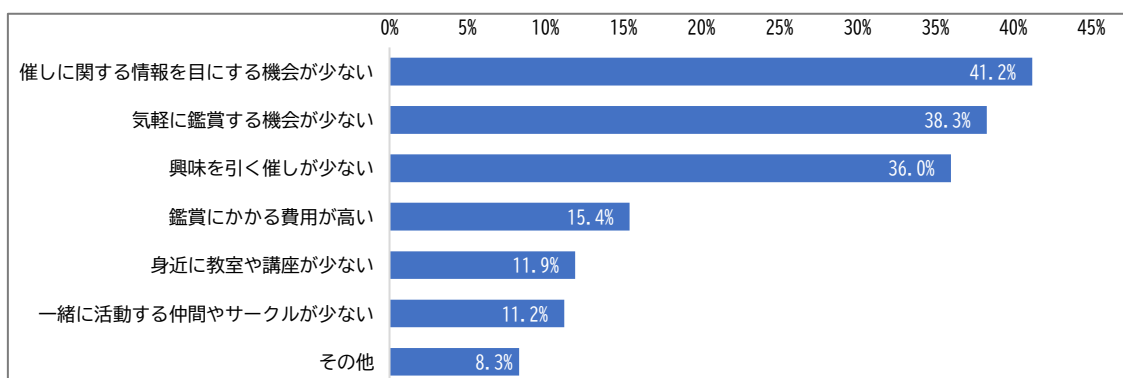


問3-2 問3で①～⑩を選択された方にお聞きします。

弘前で行われている文化芸術の催しなどで改善してほしいと感じる点は何ですか。（回答はいくつでも）

「催しに関する情報を目にする機会が少ない（41.2%）」と答えた方が最も多く、次いで「気軽に鑑賞する機会が少ない（38.3%）」「興味を引く催しが少ない（36%）」となりました。

選択肢	回答数	割合
催しに関する情報を目にする機会が少ない	184	41.2%
気軽に鑑賞する機会が少ない	171	38.3%
興味を引く催しが少ない	161	36%
鑑賞にかかる費用が高い	69	15.4%
身近に教室や講座が少ない	53	11.9%
一緒に活動する仲間やサークルが少ない	50	11.2%
その他	37	8.3%
合計	725	—
回答者数（無回答除く）	447	—

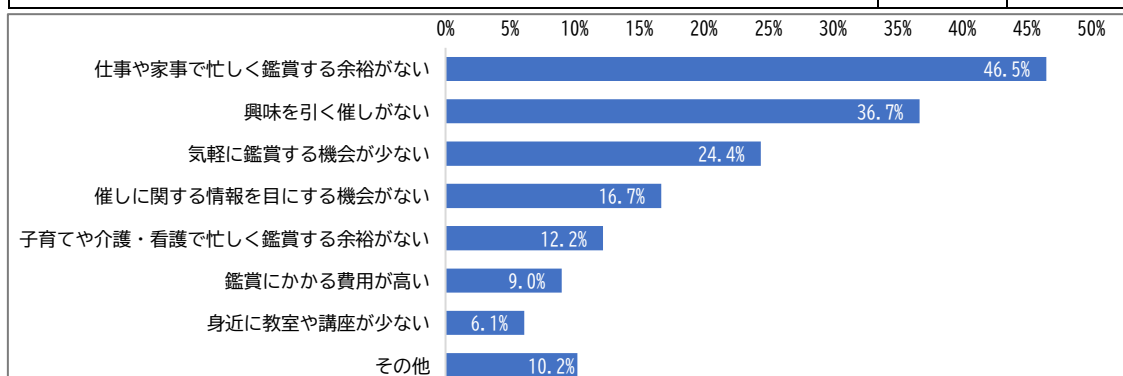


問3-3 問3で「⑨ 鑑賞していない」を選択された方にお聞きします。

あなたが文化芸術を鑑賞しない理由はなんですか。(回答はいくつでも)

「仕事や家事で忙しく鑑賞する余裕がない(46.5%)」と答えた方が最も多く、次いで「興味を引く催しがない(36.7%)」「気軽に鑑賞する機会が少ない(24.4%)」となりました。

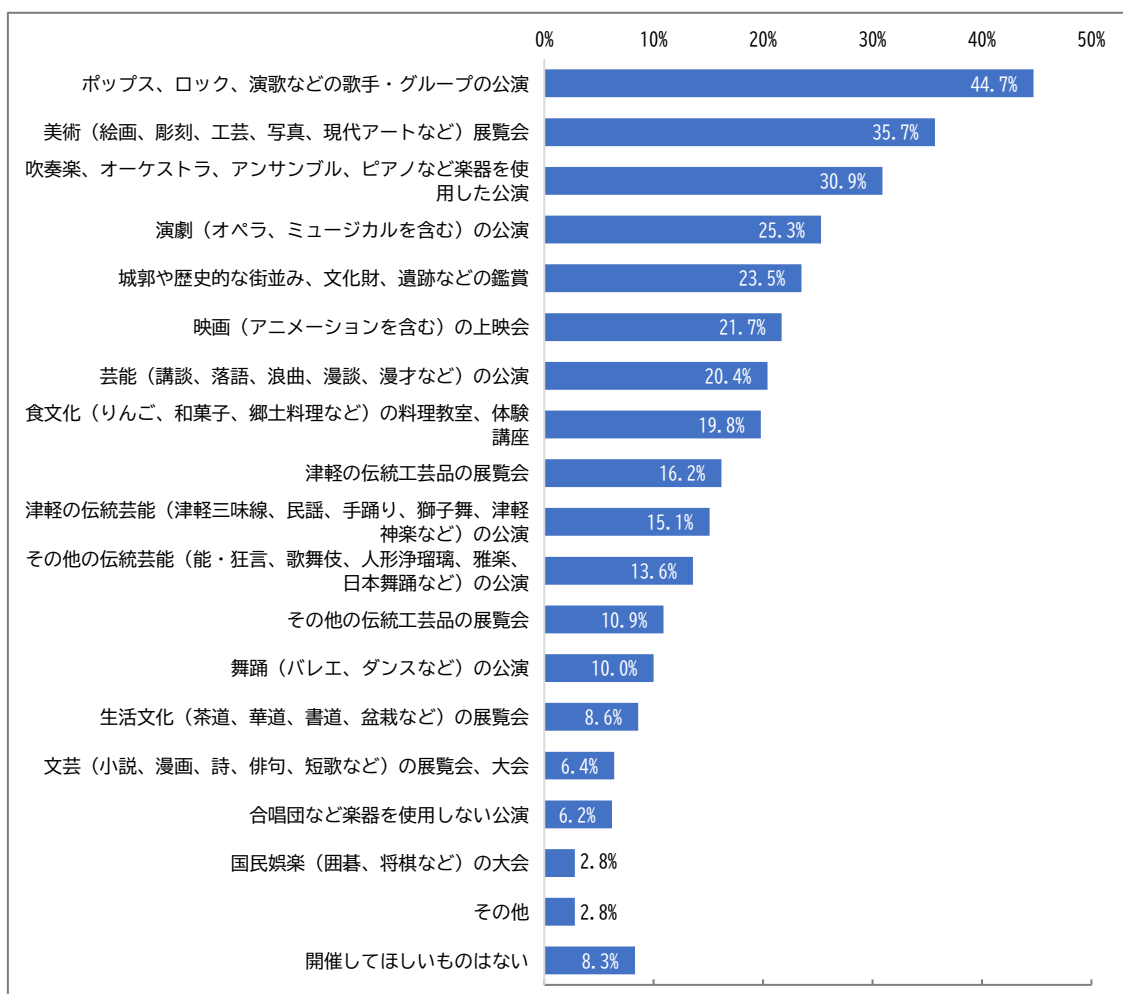
選択肢	回答数	割合
仕事や家事で忙しく鑑賞する余裕がない	114	46.5%
興味を引く催しがない	90	36.7%
気軽に鑑賞する機会が少ない	60	24.4%
催しに関する情報を目にする機会がない	41	16.7%
子育てや介護・看護で忙しく鑑賞する余裕がない	30	12.2%
鑑賞にかかる費用が高い	22	9%
身近に教室や講座が少ない	15	6.1%
その他	25	10.2%
合計	397	—
回答者数(無回答除く)	245	—



問4 あなたが弘前市内で開催してほしい文化芸術分野の催しはどれですか。(回答はいくつでも)

「ポップス、ロック、演歌などの歌手・グループの公演 (44.7%)」と答えた方が最も多く、次いで「美術(絵画、彫刻、工芸、写真、現代アートなど) 展覧会 (35.7%)」「吹奏楽、オーケストラ、アンサンブル、ピアノなど楽器を使用した公演 (30.9%)」となりました。

選択肢	回答数	割合
ポップス、ロック、演歌などの歌手・グループの公演	323	44.7%
美術(絵画、彫刻、工芸、写真、現代アートなど) 展覧会	258	35.7%
吹奏楽、オーケストラ、アンサンブル、ピアノなど楽器を使用した公演	223	30.9%
演劇(オペラ、ミュージカルを含む)の公演	183	25.3%
城郭や歴史的な街並み、文化財、遺跡などの鑑賞	170	23.5%
映画(アニメーションを含む)の上映会	157	21.7%
芸能(講談、落語、浪曲、漫談、漫才など)の公演	147	20.4%
食文化(りんご、和菓子、郷土料理など)の料理教室、体験講座	143	19.8%
津軽の伝統工芸品の展覧会	117	16.2%
津軽の伝統芸能(津軽三味線、民謡、手踊り、獅子舞、津軽神楽など)の公演	109	15.1%
その他の伝統芸能(能・狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃、雅楽、日本舞踊など)の公演	98	13.6%
その他の伝統工芸品の展覧会	79	10.9%
舞踊(バレエ、ダンスなど)の公演	72	10%
生活文化(茶道、華道、書道、盆栽など)の展覧会	62	8.6%
文芸(小説、漫画、詩、俳句、短歌など)の展覧会、大会	46	6.4%
合唱団など楽器を使用しない公演	45	6.2%
国民娯楽(囲碁、将棋など)の大会	20	2.8%
その他	20	2.8%
開催してほしいものはない	60	8.3%
合計	2,332	—
回答者数(無回答除く)	722	—

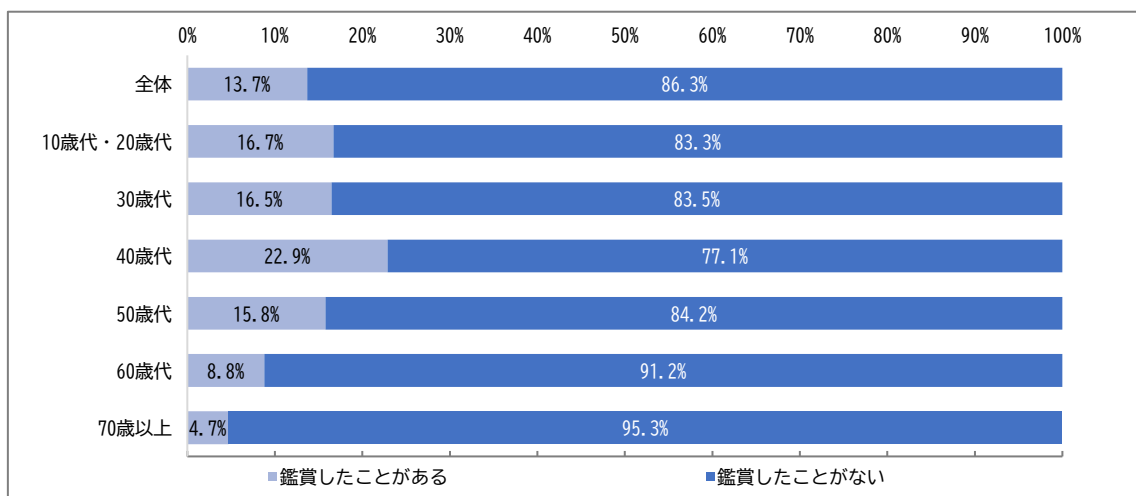


問5 あなたは今までオンライン配信で文化芸術を鑑賞したことはありますか。(回答は1つ)

オンライン配信で文化芸術を「鑑賞したことがある」と答えた方の割合は 13.7%となりました。

また、年齢別に見ると、30歳代～50歳代で「鑑賞したことがある」と答えた方の割合が他の年齢帯より多くなりました。

	回答数 (無回答除く)	鑑賞したことがある	鑑賞したことがない
全体	723 (100%)	99 (13.7%)	624 (86.3%)
10歳代・20歳代	60 (100%)	10 (16.7%)	50 (83.3%)
30歳代	85 (100%)	14 (16.5%)	71 (83.5%)
40歳代	118 (100%)	27 (22.9%)	91 (77.1%)
50歳代	171 (100%)	27 (15.8%)	144 (84.2%)
60歳代	182 (100%)	16 (8.8%)	166 (91.2%)
70歳以上	106 (100%)	5 (4.7%)	101 (95.3%)

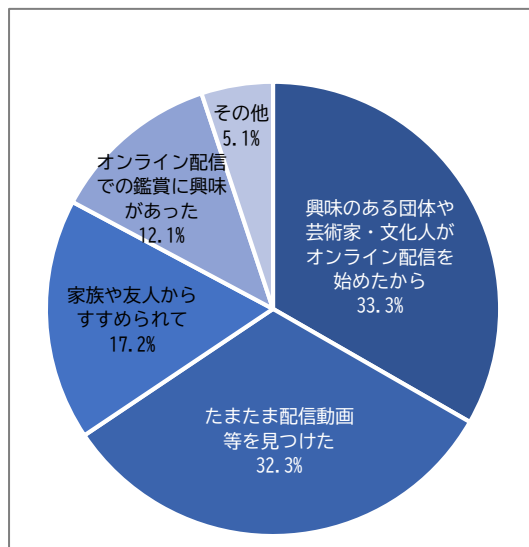


問5-2 問5で「① 鑑賞したことがある」を選択された方にお聞きします。

(1) あなたがオンライン配信で鑑賞した主なきっかけは何ですか。(回答は1つ)

「興味のある団体や芸術家・文化人がオンライン配信を始めたから (33.3%)」と答えた方が最も多く、次いで「たまたま配信動画等を見つけたから (32.3%)」となりました。

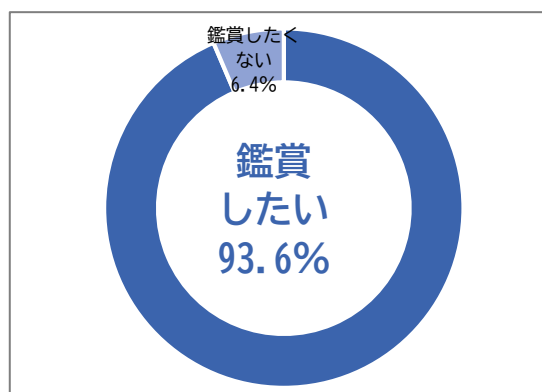
選択肢	回答数	割合
興味のある団体や芸術家・文化人がオンライン配信を始めたから	33	33.3%
たまたま配信動画等を見つけたから	32	32.3%
家族や友人からすすめられて	17	17.2%
かねてからオンライン配信での鑑賞に興味があったから	12	12.1%
その他	5	5.1%
合計	99	100%



(2) これからもオンライン配信で鑑賞したいですか。(回答は1つ)

「これからも鑑賞したい」と答えた方の割合は93.6%となりました。

選択肢	回答数	割合
これからも鑑賞したい	88	93.6%
もう鑑賞したくない	6	6.4%
合計 (無回答除く)	94	100%

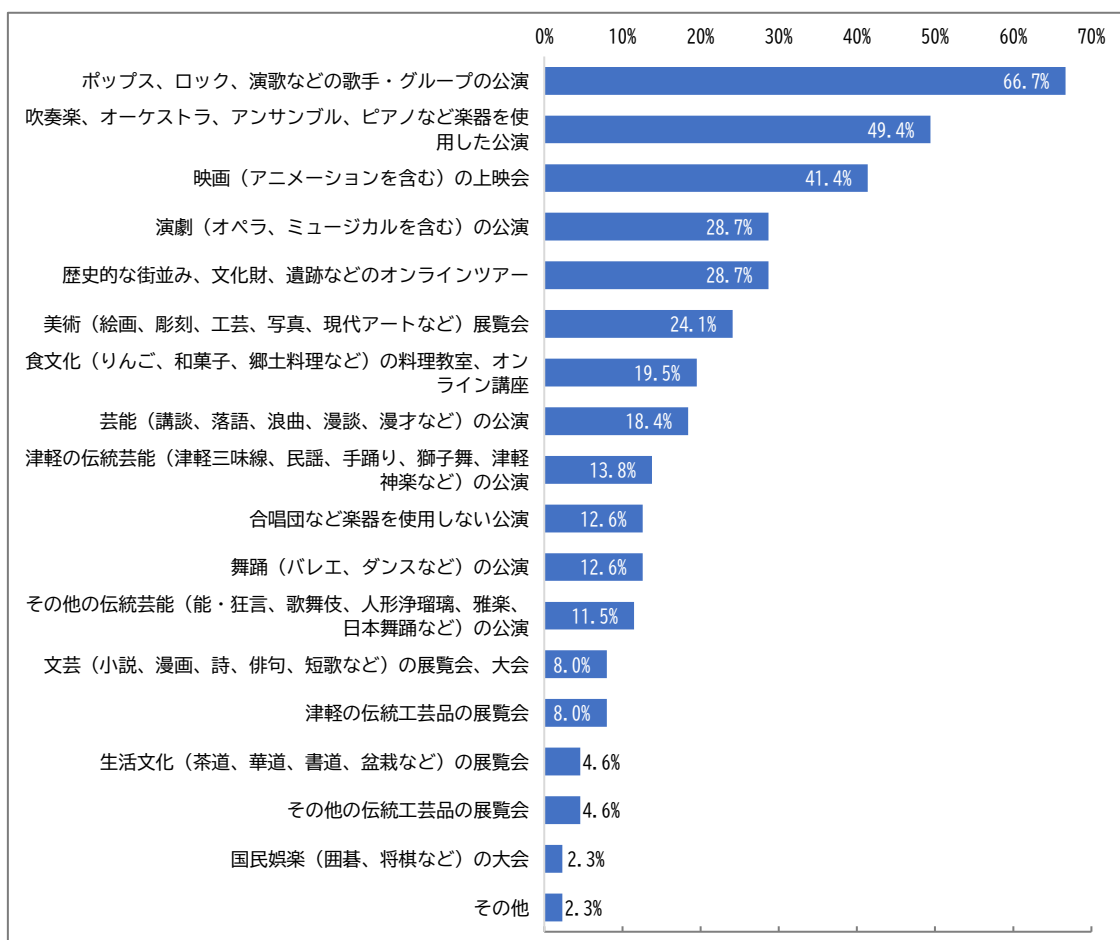


問5-3 問5-2(2)で「① これからも鑑賞したい」を選択された方にお聞きします。

あなたが鑑賞したい文化芸術分野はどれですか。(回答はいくつでも)

「ポップス、ロック、演歌などの歌手・グループの公演(66.7%)」と答えた方が最も多く、次いで「吹奏楽、オーケストラ、アンサンブル、ピアノなど楽器を使用した公演(49.4%)」「映画(アニメーションを含む)の上映会(41.4%)」となりました。

選択肢	回答数	割合
ポップス、ロック、演歌などの歌手・グループの公演	58	66.7%
吹奏楽、オーケストラ、アンサンブル、ピアノなど楽器を使用した公演	43	49.4%
映画(アニメーションを含む)の上映会	36	41.4%
演劇(オペラ、ミュージカルを含む)の公演	25	28.7%
歴史的な街並み、文化財、遺跡などのオンラインツアー	25	28.7%
美術(絵画、彫刻、工芸、写真、現代アートなど)展覧会	21	24.1%
食文化(りんご、和菓子、郷土料理など)の料理教室、オンライン講座	17	19.5%
芸能(講談、落語、浪曲、漫談、漫才など)の公演	16	18.4%
津軽の伝統芸能(津軽三味線、民謡、手踊り、獅子舞、津軽神楽など)の公演	12	13.8%
合唱団など楽器を使用しない公演	11	12.6%
舞踊(バレエ、ダンスなど)の公演	11	12.6%
その他の伝統芸能(能・狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃、雅楽、日本舞踊など)の公演	10	11.5%
文芸(小説、漫画、詩、俳句、短歌など)の展覧会、大会	7	8%
津軽の伝統工芸品の展覧会	7	8%
生活文化(茶道、華道、書道、盆栽など)の展覧会	4	4.6%
その他の伝統工芸品の展覧会	4	4.6%
国民娯楽(囲碁、将棋など)の大会	2	2.3%
その他	2	2.3%
合計	311	—
回答者数(無回答除く)	87	—

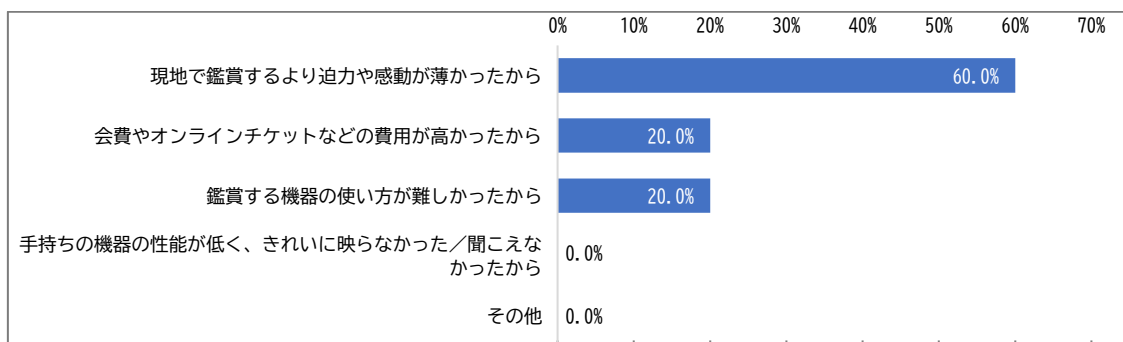


問5-4 問5-2 (2) で「② もう鑑賞したくない」を選択された方にお聞きします。

その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

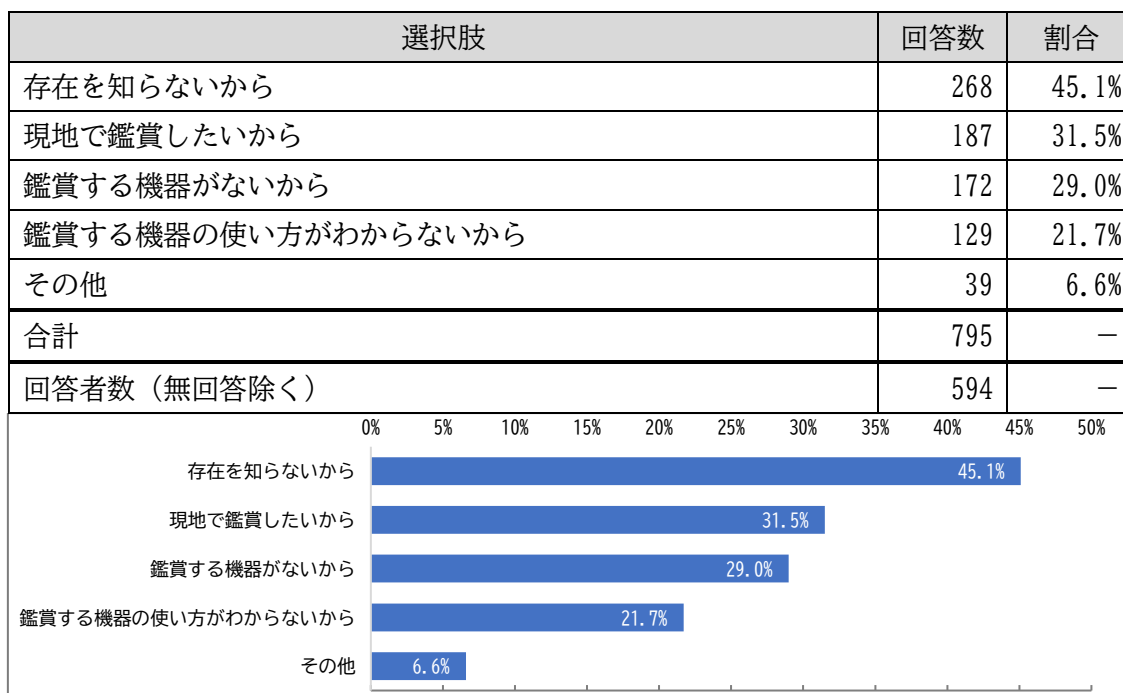
「現地で鑑賞するより迫力や感動が薄かったから (40%)」と答えた方が最も多く、次いで「会費やオンラインチケットなどの費用が高かったから (20%)」「鑑賞する機器の使い方が難しかったから (20%)」となりました。

選択肢	回答数	割合
現地で鑑賞するより迫力や感動が薄かったから	3	60.0%
会費やオンラインチケットなどの費用が高かったから	1	20.0%
鑑賞する機器の使い方が難しかったから	1	20.0%
手持ちの機器の性能が低く、きれいに映らなかった／聞こえなかったから	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	5	—
回答者数（無回答除く）	5	—



問5-5 問5で「② 鑑賞したことがない」を選択された方にお聞きします。
その理由は何ですか。(回答はいくつでも)

「存在を知らないから (45.1%)」と答えた方が最も多く、次いで「現地で鑑賞したいから (31.5%)」「鑑賞する機器がないから (29%)」となりました。

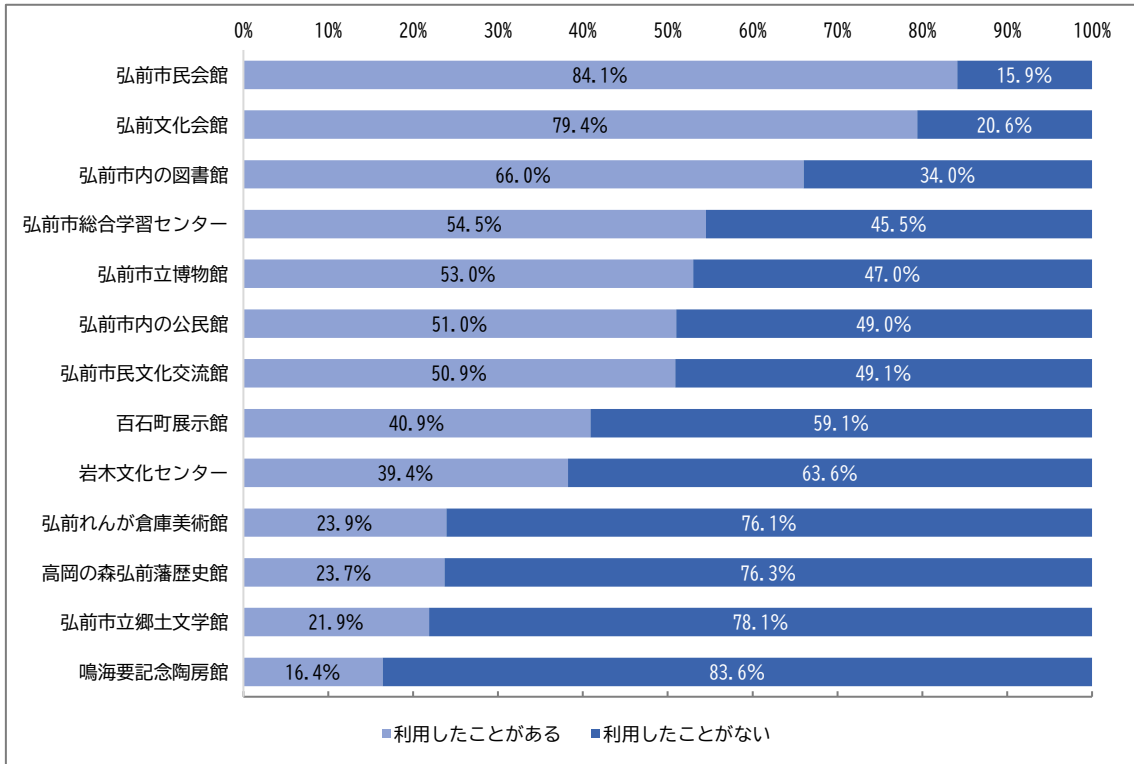


◆弘前市の文化施設について

問6 あなたは、次の施設(1)～(13)の市の文化施設を利用したことはありますか。施設ごとに、利用したことがあれば①を、利用したことがなければ、その理由について②～⑥のなかから2つまで選択してください。

弘前市内の各文化施設の利用度合いの多い順に、「弘前市民会館(84.1%)」「弘前文化会館(79.4%)」「弘前市内の図書館(66%)」となりました。

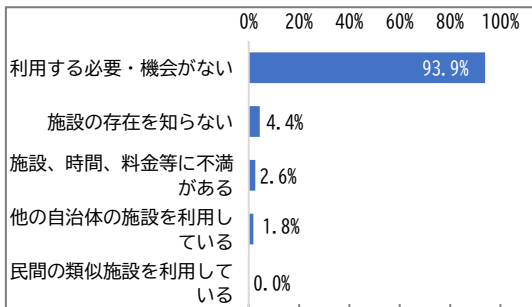
	回答数 (無回答除く)	利用したこと がある	利用したこと がない
弘前市民会館	717 (100%)	603 (84.1%)	114 (15.9%)
弘前文化会館 (弘前文化センター)	708 (100%)	562 (79.4%)	146 (20.6%)
弘前市内の図書館	697 (100%)	460 (66%)	237 (34%)
弘前市総合学習センター	696 (100%)	379 (54.5%)	317 (45.5%)
弘前市立博物館	695 (100%)	368 (52.9%)	327 (47.1%)
弘前市内の公民館	692 (100%)	353 (51%)	339 (49%)
弘前市民文化交流館	694 (100%)	353 (50.9%)	341 (49.1%)
百石町展示館	696 (100%)	285 (40.9%)	411 (59.1%)
岩木文化センター	687 (100%)	250 (36.4%)	437 (63.6%)
弘前れんが倉庫美術館	686 (100%)	164 (23.9%)	522 (76.1%)
高岡の森弘前藩歴史館	687 (100%)	163 (23.7%)	524 (76.3%)
弘前市立郷土文学館	680 (100%)	149 (21.9%)	531 (78.1%)
鳴海要記念陶房館	684 (100%)	112 (16.4%)	572 (83.6%)



また、文化施設ごとの利用したことがない理由については以下のとおりとなりました。

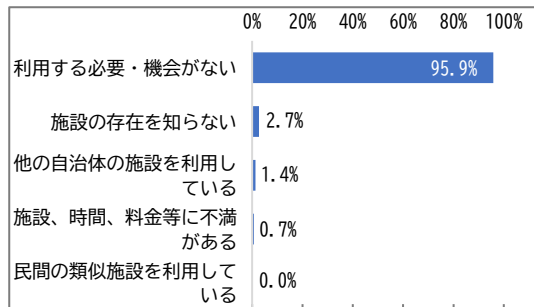
(1) 弘前市民会館

選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	107	93.9%
施設の利用を知らない	5	4.4%
施設、時間、料金等に不満がある	3	2.6%
他の自治体の施設を利用している	2	1.8%
民間の類似施設を利用している	0	—
合計	117	—
回答者数（無回答除く）	114	—



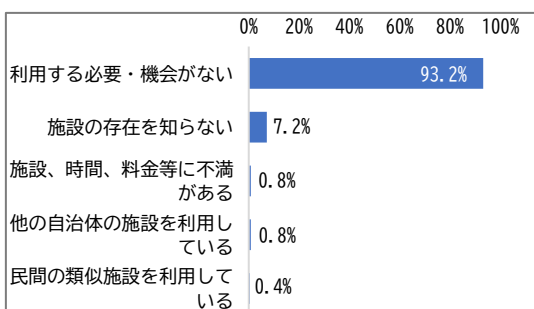
(2) 弘前文化会館（弘前文化センター）

選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	140	95.9%
施設の利用を知らない	4	2.7%
他の自治体の施設を利用している	2	1.4%
施設、時間、料金等に不満がある	1	0.7%
民間の類似施設を利用している	0	—
合計	147	—
回答者数（無回答除く）	146	—



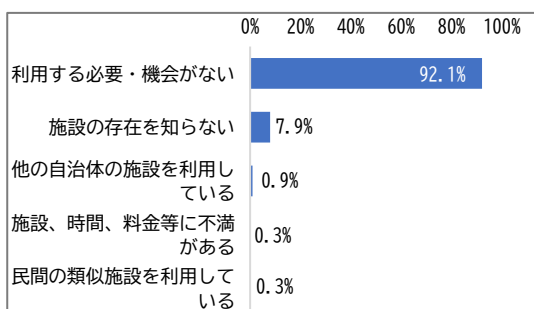
(3) 弘前市内の図書館

選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	221	93.2%
施設の利用を知らない	17	7.2%
施設、時間、料金等に不満がある	2	0.8%
他の自治体の施設を利用している	2	0.8%
民間の類似施設を利用している	1	0.4%
合計	243	—
回答者数（無回答除く）	237	—



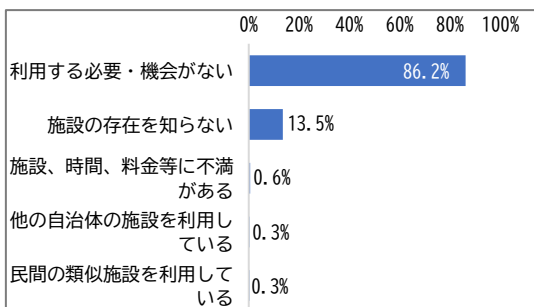
(4) 弘前市総合学習センター

選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	292	92.1%
施設の利用を知らない	25	7.9%
他の自治体の施設を利用している	3	0.9%
施設、時間、料金等に不満がある	1	0.3%
民間の類似施設を利用している	1	0.3%
合計	322	—
回答者数（無回答除く）	317	—



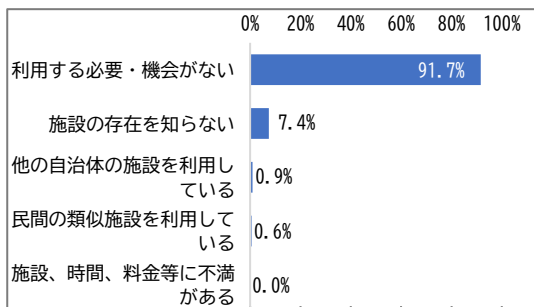
(5) 弘前市立博物館

選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	282	86.2%
施設の利用を知らない	44	13.5%
施設、時間、料金等に不満がある	2	0.6%
他の自治体の施設を利用している	1	0.3%
民間の類似施設を利用している	1	0.3%
合計	330	—
回答者数（無回答除く）	327	—



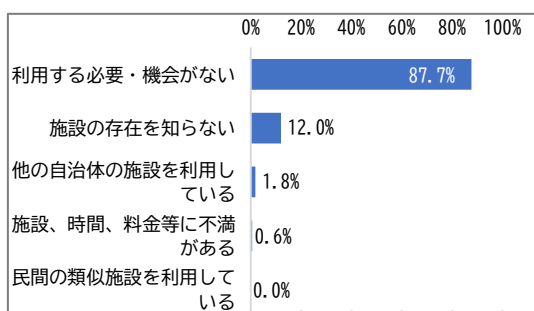
(6) 弘前市内の公民館

選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	311	91.7%
施設の利用を知らない	25	7.4%
他の自治体の施設を利用している	3	0.9%
民間の類似施設を利用している	2	0.6%
施設、時間、料金等に不満がある	0	—
合計	341	—
回答者数（無回答除く）	339	—



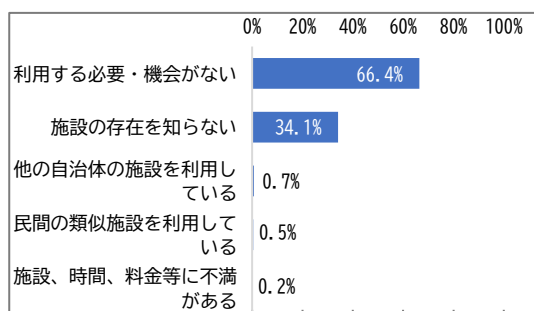
(7) 弘前市民文化交流館

選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	299	87.7%
施設の利用を知らない	41	12.0%
他の自治体の施設を利用している	6	1.8%
施設、時間、料金等に不満がある	2	0.6%
民間の類似施設を利用している	0	—
合計	348	—
回答者数（無回答除く）	341	—



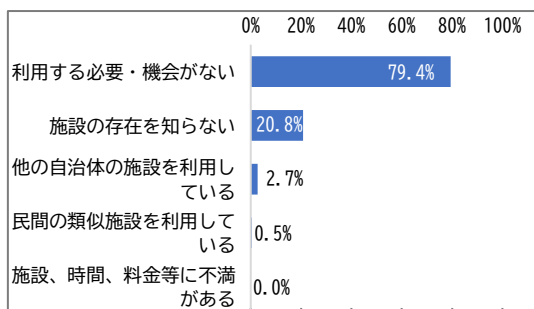
(8) 百石町展示館

選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	273	66.4%
施設の利用を知らない	140	34.1%
他の自治体の施設を利用している	3	0.7%
民間の類似施設を利用している	2	0.5%
施設、時間、料金等に不満がある	1	0.2%
合計	419	—
回答者数（無回答除く）	411	—



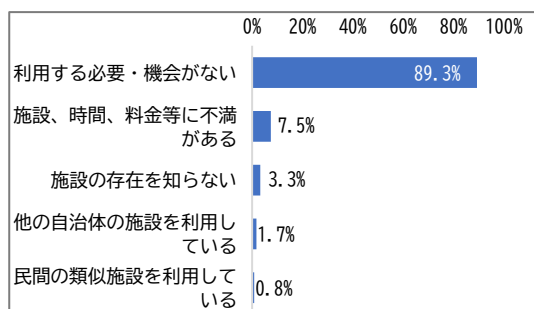
(9) 岩木文化センター

選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	347	79.4%
施設の利用を知らない	91	20.8%
他の自治体の施設を利用している	12	2.7%
民間の類似施設を利用している	2	0.5%
施設、時間、料金等に不満がある	0	—
合計	452	—
回答者数（無回答除く）	437	—



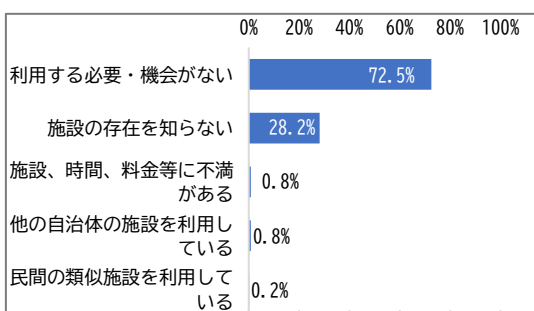
(10) 弘前れんが倉庫美術館

選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	466	89.3%
施設、時間、料金等に不満がある	39	7.5%
施設の利用を知らない	17	3.3%
他の自治体の施設を利用している	9	1.7%
民間の類似施設を利用している	4	0.8%
合計	535	—
回答者数（無回答除く）	522	—



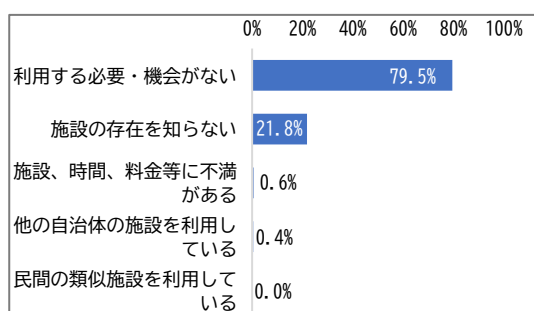
(11) 高岡の森弘前藩歴史館

選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	380	72.5%
施設の利用を知らない	148	28.2%
施設、時間、料金等に不満がある	4	0.8%
他の自治体の施設を利用している	4	0.8%
民間の類似施設を利用している	1	0.2%
合計	537	—
回答者数（無回答除く）	524	—



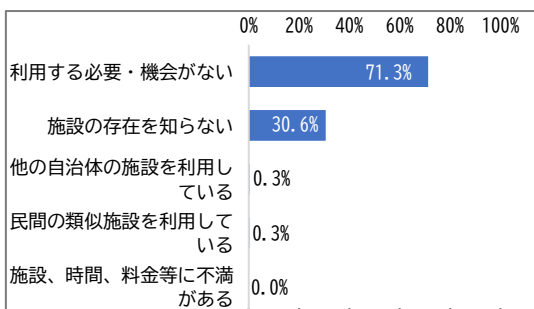
(12) 弘前市立郷土文学館

選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	422	79.5%
施設の利用を知らない	116	21.8%
施設、時間、料金等に不満がある	3	0.6%
他の自治体の施設を利用している	2	0.4%
民間の類似施設を利用している	0	—
合計	543	—
回答者数（無回答除く）	531	—



(13) 鳴海要記念陶房館

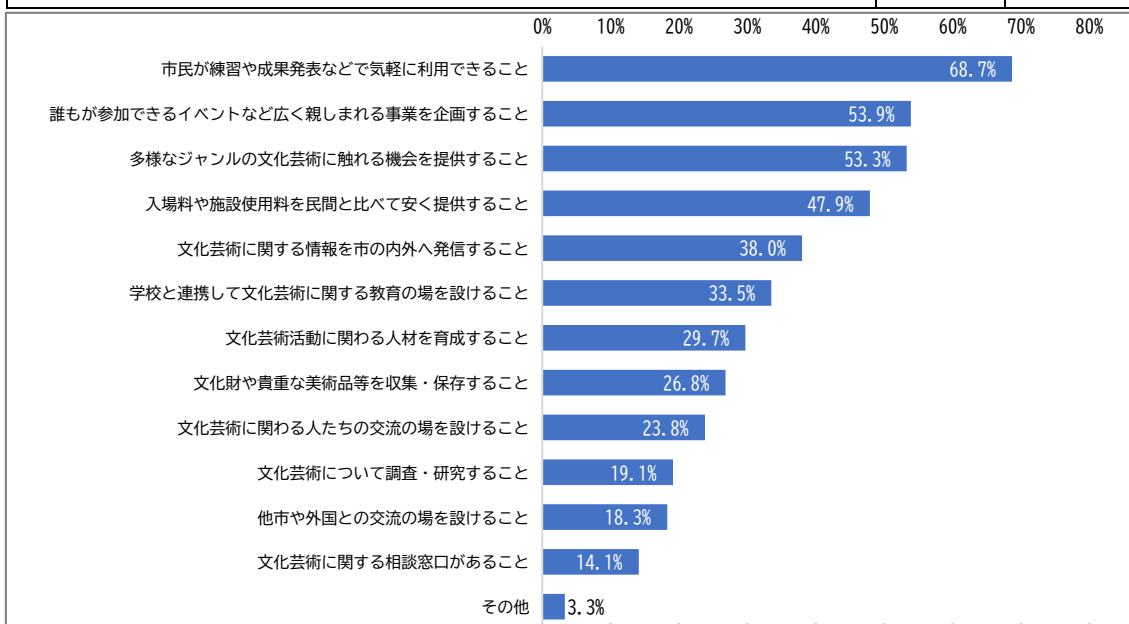
選択肢	回答数	割合
利用する必要・機会がない	408	71.3%
施設の利用を知らない	175	30.6%
他の自治体の施設を利用している	2	0.3%
民間の類似施設を利用している	2	0.3%
施設、時間、料金等に不満がある	0	—
合計	587	—
回答者数（無回答除く）	572	—



問7 あなたが「公立」の文化施設の役割として重要だと思うことは何ですか
(回答はいくつでも)

全回答者の7割弱が「市民が練習や成果発表などで気軽に利用できること(68.7%)」と答えました。次いで「誰もが参加できるイベントなど広く親しまれる事業を企画すること(53.9%)」「多様なジャンルの文化芸術に触れる機会を提供すること(53.3%)」となりました。

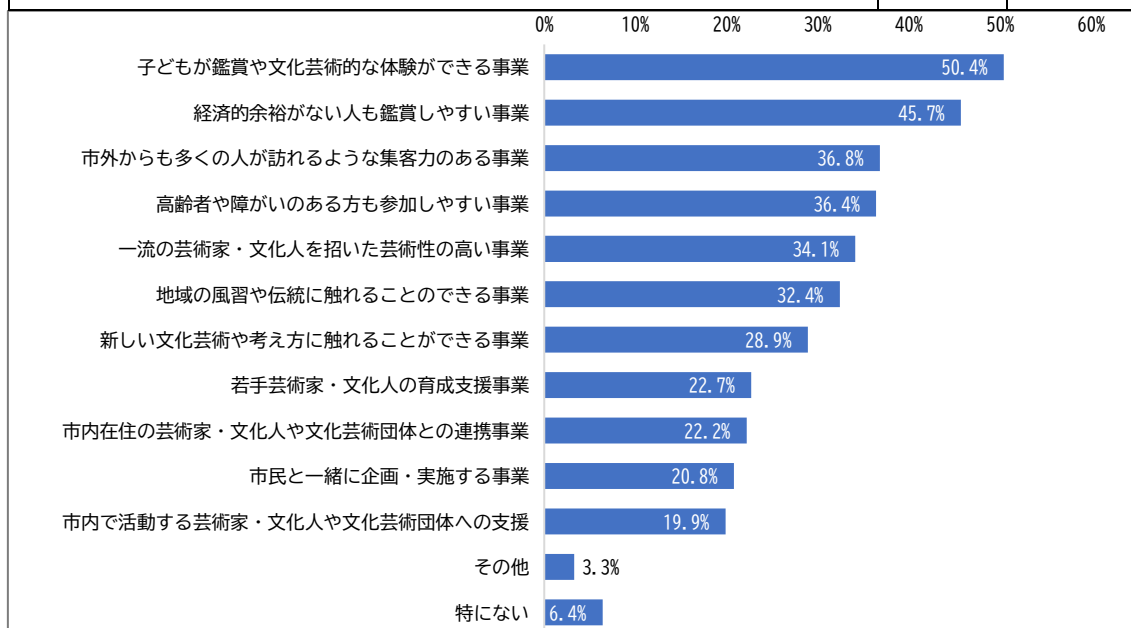
選択肢	回答数	割合
市民が練習や成果発表などで気軽に利用できること	497	68.7%
誰もが参加できるイベントなど広く親しまれる事業を企画すること	390	53.9%
多様なジャンルの文化芸術に触れる機会を提供すること	385	53.3%
入場料や施設使用料を民間と比べて安く提供すること	346	47.9%
文化芸術に関する情報を市の内外へ発信すること	275	38.0%
学校と連携して文化芸術に関する教育の場を設けること	242	33.5%
文化芸術活動に関わる人材を育成すること	215	29.7%
文化財や貴重な美術品等を収集・保存すること	194	26.8%
文化芸術に関わる人たちの交流の場を設けること	172	23.8%
文化芸術について調査・研究すること	138	19.1%
他市や外国との交流の場を設けること	132	18.3%
文化芸術に関する相談窓口があること	102	14.1%
その他	24	3.3%
合計	3,112	—
回答者数(無回答除く)	723	—



問8 あなたが、弘前の文化芸術を振興するために、市の文化施設で行ってほしいと思う事業は何ですか。(回答はいくつでも)

「子どもが鑑賞や文化芸術的な体験ができる事業（50.4%）」と答えた方が最も多く、次いで「経済的余裕がない人も鑑賞しやすい事業（45.7%）」「市外からも多くの人が訪れるような集客力のある事業（36.8%）」「高齢者や障がいのある方も参加しやすい事業（36.4%）」となりました。

選択肢	回答数	割合
子どもが鑑賞や文化芸術的な体験ができる事業	364	50.4%
経済的余裕がない人も鑑賞しやすい事業	330	45.7%
市外からも多くの人が訪れるような集客力のある事業	266	36.8%
高齢者や障がいのある方も参加しやすい事業	263	36.4%
一流の芸術家・文化人を招いた芸術性の高い事業	246	34.1%
地域の風習や伝統に触れることのできる事業	234	32.4%
新しい文化芸術や考え方に触れることのできる事業	209	28.9%
若手芸術家・文化人の育成支援事業	164	22.7%
市内在住の芸術家・文化人や文化芸術団体との連携事業	160	22.2%
市民と一緒に企画・実施する事業	150	20.8%
市内で活動する芸術家・文化人や文化芸術団体への支援	144	19.9%
その他	24	3.3%
特にない	46	6.4%
合計	2,600	—
回答者数（無回答除く）	722	—

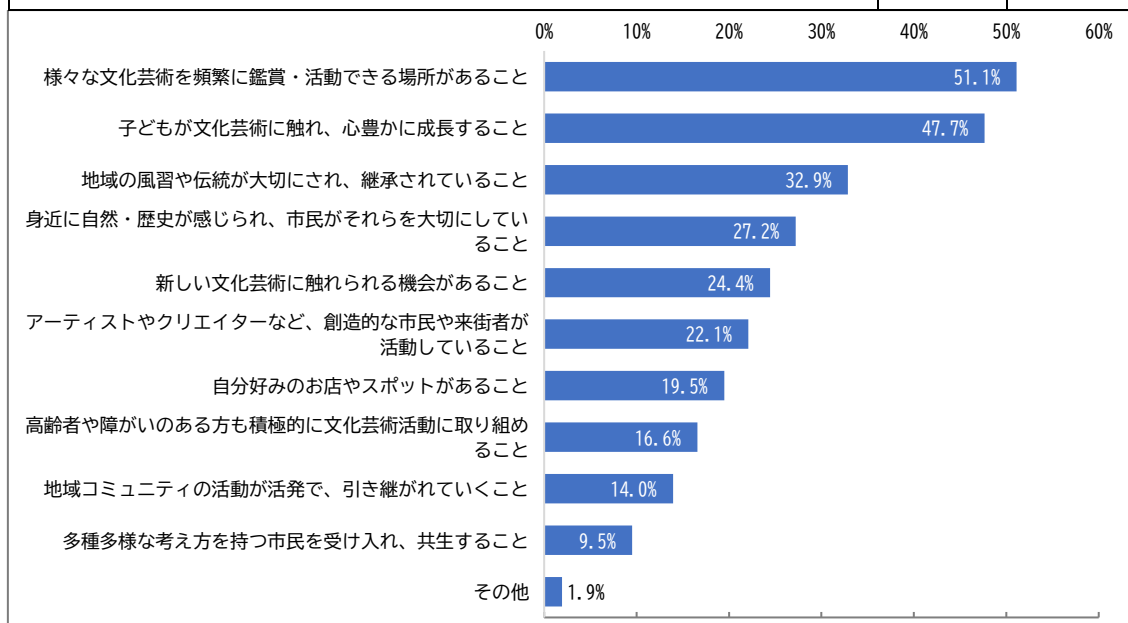


◆弘前市の文化振興（地域の文化的環境）について

問9 あなたは、弘前の文化芸術が発展するために、まちに必要なと思う要素は何ですか。（回答は上位3つまで）

「様々な文化芸術を頻繁に鑑賞・活動できる場所があること（51.1%）」と答えた方が最も多くなり、次いで「子どもが文化芸術に触れ、心豊かに成長すること（47.7%）」「地域の風習や伝統が大切にされ、継承されていること（32.9%）」となりました。

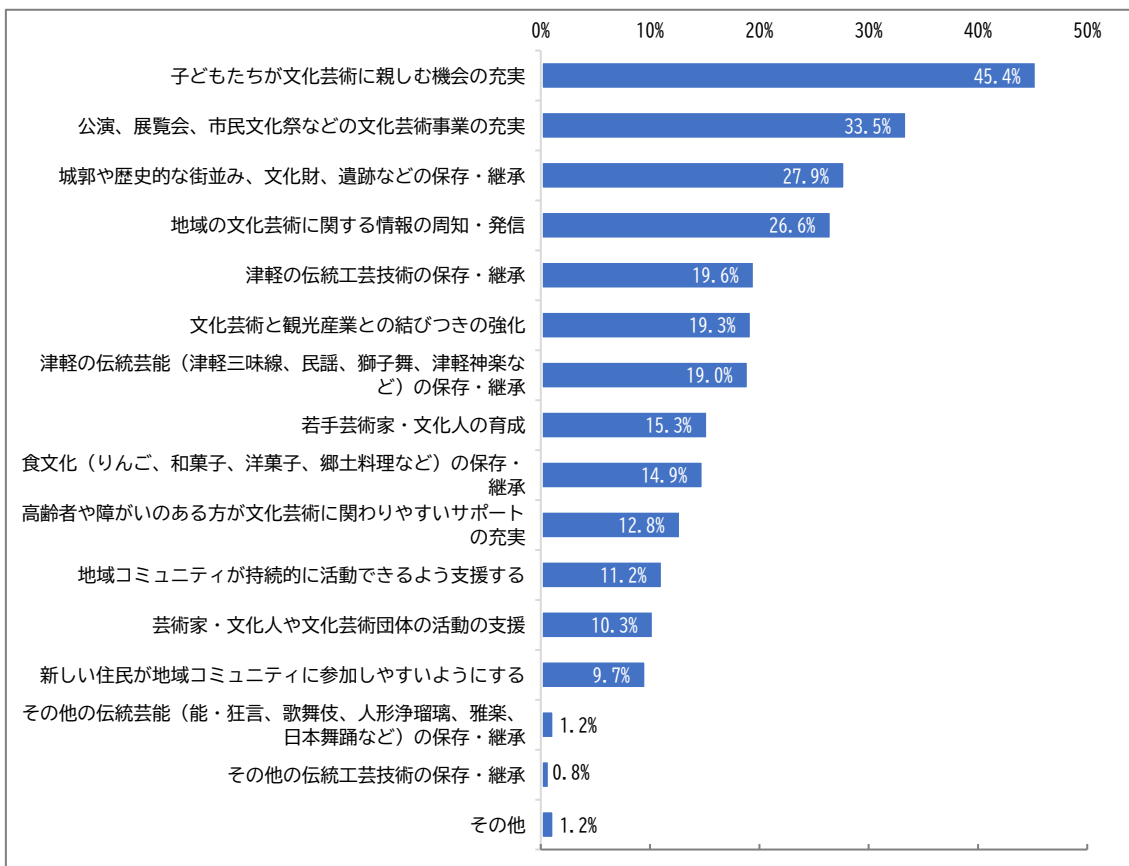
選択肢	回答数	割合
様々な文化芸術を頻繁に鑑賞・活動できる場所があること	370	51.1%
子どもが文化芸術に触れ、心豊かに成長すること	345	47.7%
地域の風習や伝統が大切にされ、継承されていること	238	32.9%
身近に自然・歴史が感じられ、市民がそれらを大切にしていること	197	27.2%
新しい文化芸術に触れられる機会があること	177	24.4%
アーティストやクリエイターなど、創造的な市民や来街者が活動していること	160	22.1%
自分好みのお店やスポットがあること	141	19.5%
高齢者や障がいのある方も積極的に文化芸術活動に取り組めること	120	16.6%
地域コミュニティの活動が活発で、引き継がれていくこと	101	14.0%
多種多様な考え方を持つ市民を受け入れ、共生すること	69	9.5%
その他	14	1.9%
合計	1,932	—
回答者数（無回答除く）	724	—



問10 あなたは、弘前の文化芸術を振興するために、行政が積極的に取り組むべき分野はどのようなことだと思いますか。(回答は上位3つまで)

「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実(45.4%)」と答えた方が最も多く、次いで「公演、展覧会、市民文化祭などの文化芸術事業の充実(33.5%)」「城郭や歴史的な街並み、文化財、遺跡などの保存・継承(27.9%)」となりました。

選択肢	回答数	割合
子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実	329	45.4%
公演、展覧会、市民文化祭などの文化芸術事業の充実	243	33.5%
城郭や歴史的な街並み、文化財、遺跡などの保存・継承	202	27.9%
地域の文化芸術に関する情報の周知・発信	193	26.6%
津軽の伝統工芸技術の保存・継承	142	19.6%
文化芸術と観光産業との結びつきの強化	140	19.3%
津軽の伝統芸能(津軽三味線、民謡、獅子舞、津軽神楽など)の保存・継承	138	19.0%
若手芸術家・文化人の育成	111	15.3%
食文化(りんご、和菓子、洋菓子、郷土料理など)の保存・継承	108	14.9%
高齢者や障がいのある方が文化芸術に関わりやすいサポートの充実	93	12.8%
地域コミュニティが持続的に活動できるよう支援する	81	11.2%
芸術家・文化人や文化芸術団体の活動の支援	75	10.3%
新しい住民が地域コミュニティに参加しやすいようにする	70	9.7%
その他の伝統芸能(能・狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃、雅楽、日本舞踊など)の保存・継承	9	1.2%
その他の伝統工芸技術の保存・継承	6	0.8%
その他	9	1.2%
合計	1,949	—
回答者数(無回答除く)	725	—

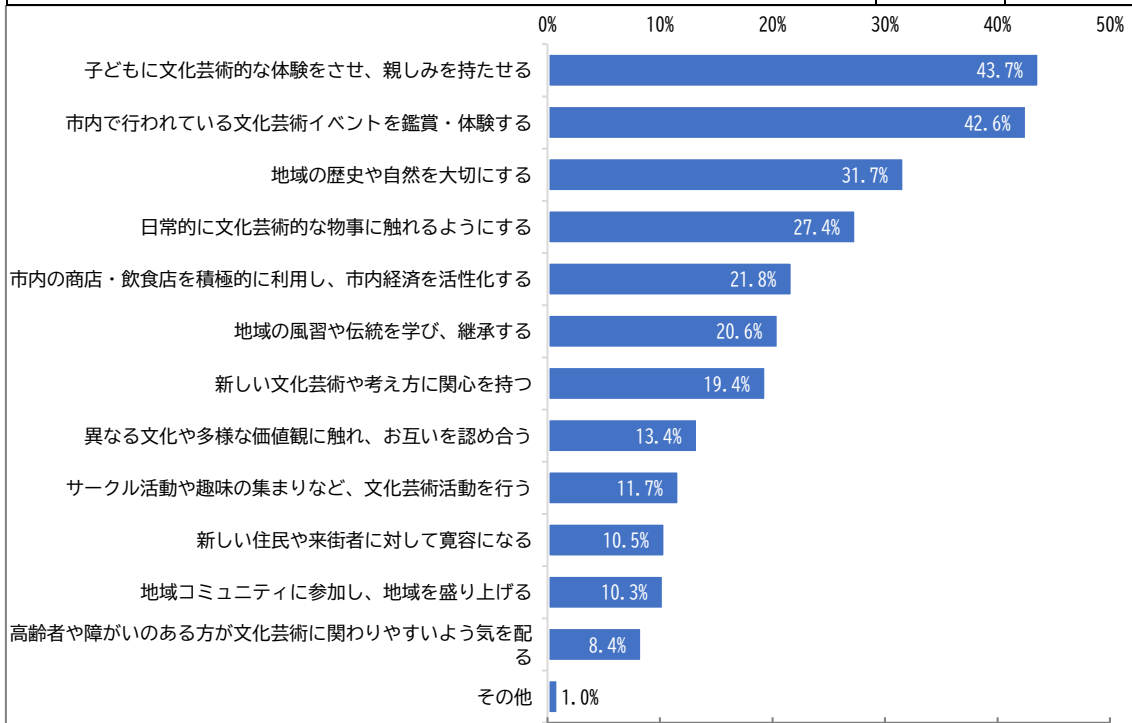


問11 あなたは、弘前の文化芸術を振興するために、市民が担うべき役割はどのようなことだと思えますか。（回答は上位3つまで）

「子どもに文化芸術的な体験をさせ、親しみを持たせる（43.7%）」と答えた方が最も多く、次いで「市内で行われている文化芸術イベントを鑑賞・体験する（42.6%）」「地域の歴史や自然を大切にする（31.7%）」となりました。

選択肢	回答数	割合
子どもに文化芸術的な体験をさせ、親しみを持たせる	317	43.7%
市内で行われている文化芸術イベントを鑑賞・体験する	309	42.6%
地域の歴史や自然を大切にする	230	31.7%
日常的に文化芸術的な物事に触れるようにする	199	27.4%
市内の商店・飲食店を積極的に利用し、市内経済を活性化する	158	21.8%
地域の風習や伝統を学び、継承する	149	20.6%
新しい文化芸術や考え方に関心を持つ	141	19.4%
異なる文化や多様な価値観に触れ、お互いを認め合う	97	13.4%
サークル活動や趣味の集まりなど、文化芸術活動を行う	85	11.7%
新しい住民や来街者に対して寛容になる	76	10.5%

地域コミュニティに参加し、地域を盛り上げる	75	10.3%
高齢者や障がいのある方が文化芸術に関わりやすいよう気を配る	61	8.4%
その他	7	1%
合計	1,904	—
回答者数（無回答除く）	725	—



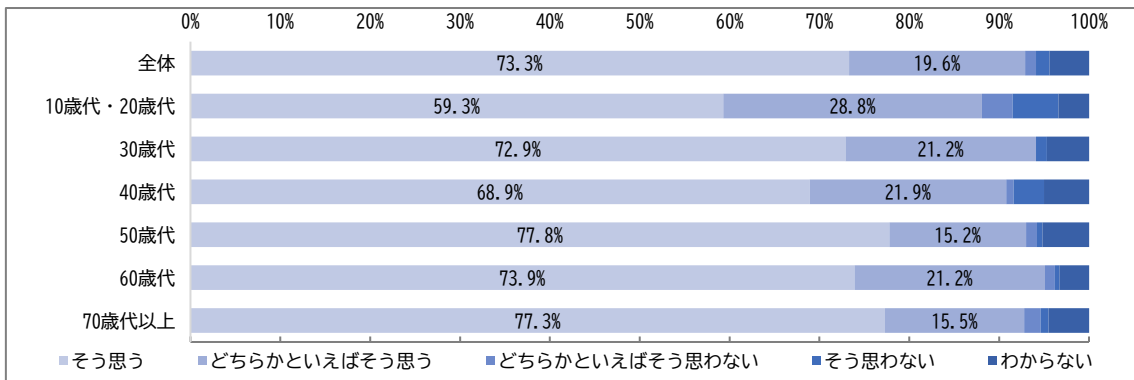
問12 「伝統的な祭りや歴史的な建造物などの存在が、その地域の人々にとって地域への愛着や誇りとなる」との考え方について、あなたはどのように思いますか。
(回答は1つ)

「そう思う (73.3%)」「どちらかといえばそう思う (19.6%)」と答えた方は9割超となりました。

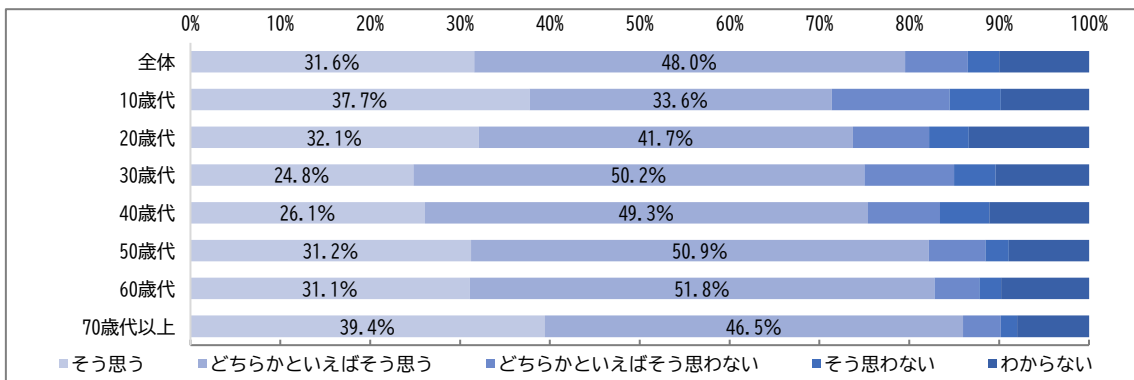
	回答数 (無回答除く)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
全体	729 (100%)	534 (73.3%)	143 (19.6%)	9 (1.2%)	11 (1.5%)	32 (4.4%)
10歳代・ 20歳代	59 (100%)	35 (59.3%)	17 (28.8%)	2 (3.4%)	3 (5.1%)	2 (3.4%)

30 歳代	85 (100%)	62 (72.9%)	18 (21.2%)	0 (-)	1 (1.2%)	4 (4.7%)
40 歳代	119 (100%)	82 (68.9%)	26 (21.9%)	1 (0.8%)	4 (3.4%)	6 (5%)
50 歳代	171 (100%)	133 (77.8%)	26 (15.2%)	2 (1.2%)	1 (0.6%)	9 (5.2%)
60 歳代	184 (100%)	136 (73.9%)	39 (21.2%)	2 (1.1%)	1 (0.5%)	6 (3.3%)
70 歳代 以上	110 (100%)	85 (77.3%)	17 (15.5%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	5 (4.5%)

文化庁の全国を対象とした世論調査結果と比較すると、弘前市で「そう思う」と答えた方の割合は全年齢で全国より大幅に高くなりました。(【全年齢】弘前市：73.3%、全国：31.6%)



【参考】文化庁 文化に関する世論調査（令和元年度調査）

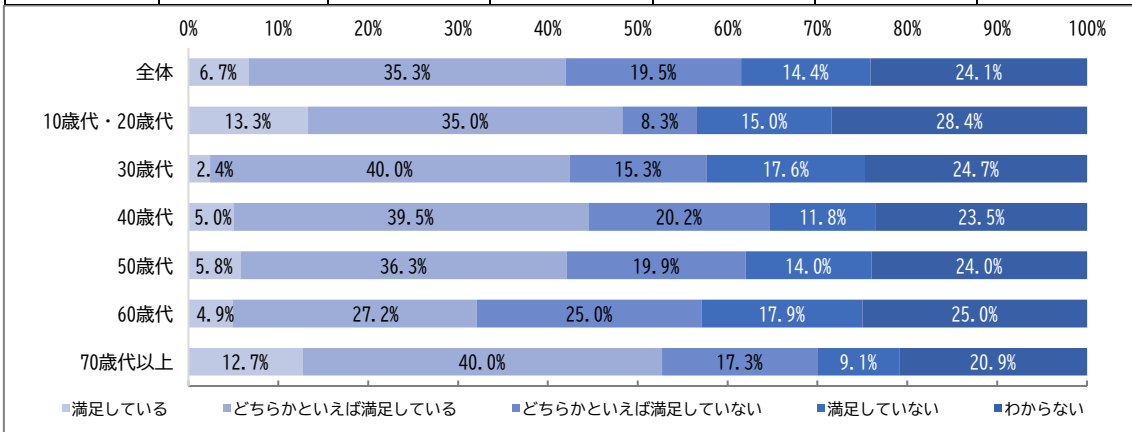


問13 あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的街並みの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。
(回答は1つ)

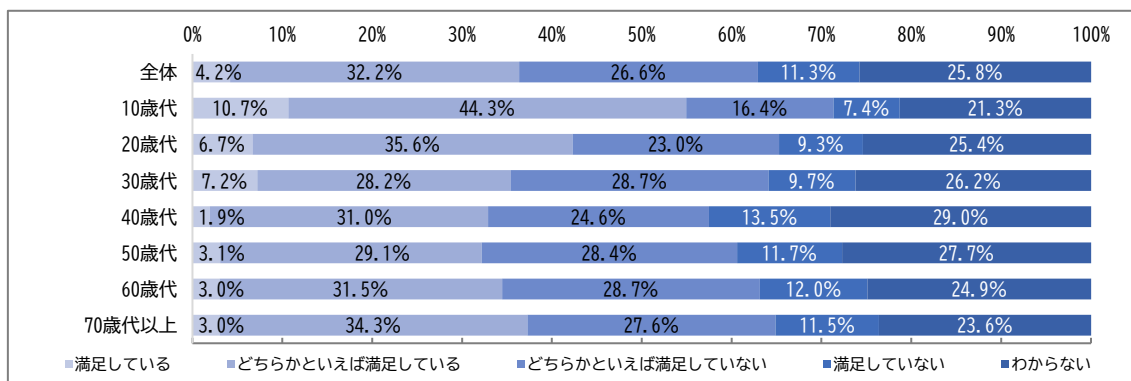
文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的街並みの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に「満足している (6.7%)」「どちらかといえば満足している (35.3%)」と答えた方は42%となりました。

年齢別に見ると、10歳代・20歳代と70歳代以上で「満足している」割合が他の年齢帯より高くなりました。

	回答数 (無回答除く)	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	わからない
全体	730 (100%)	49 (6.7%)	258 (35.3%)	142 (19.5%)	105 (14.4%)	176 (24.1%)
10歳代・ 20歳代	60 (100%)	8 (13.3%)	21 (35%)	5 (8.3%)	9 (15%)	17 (28.4%)
30歳代	85 (100%)	2 (2.4%)	34 (40%)	13 (15.3%)	15 (17.6%)	21 (24.7%)
40歳代	119 (100%)	6 (5%)	47 (39.5%)	24 (20.2%)	14 (11.8%)	28 (23.5%)
50歳代	171 (100%)	10 (5.8%)	62 (36.3%)	34 (19.9%)	24 (14%)	41 (24%)
60歳代	184 (100%)	9 (4.9%)	50 (27.2%)	46 (25%)	33 (17.9%)	46 (25%)
70歳代 以上	110 (100%)	14 (12.7%)	44 (40%)	19 (17.3%)	10 (9.1%)	23 (20.9%)



【参考】文化庁 文化に関する世論調査（令和元年度調査）

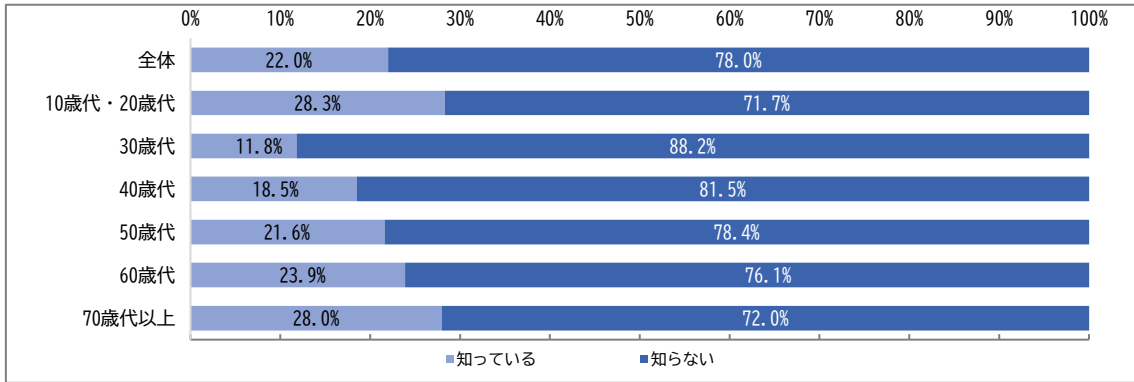


問14 近年、文化芸術活動を共に行うことを通じて、障がい者や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうという考え方があることを知っていますか。（回答は1つ）

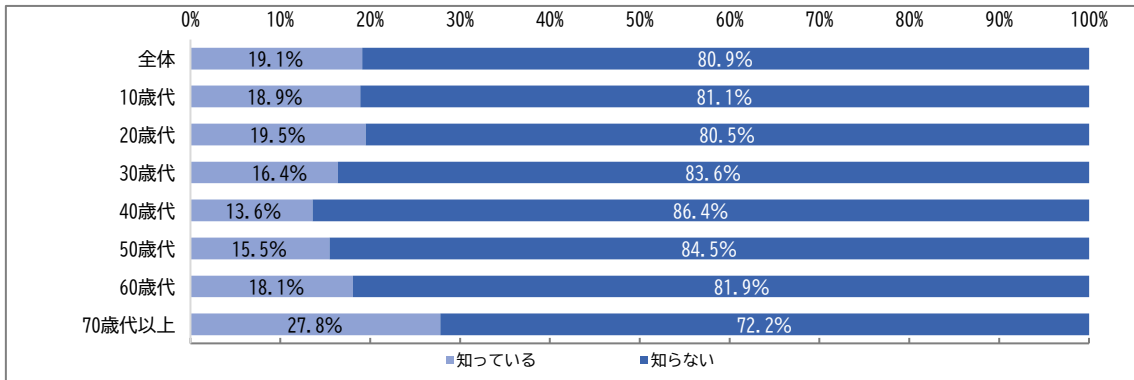
「知っている」と答えた方の割合は22%、「知らない」と答えた方の割合は78%となりました。

年齢別に見ると、10歳代・20歳代で「知っている」と答えた方の割合が全国より大幅に高くなりました。（【10歳代・20歳代】弘前市：28.3%、全国：10歳代18.9%、20歳代19.5%）

	回答数 (無回答除く)	知っている	知らない
全体	727 (100%)	160 (22%)	567 (78%)
10歳代・20歳代	60 (100%)	17 (28.3%)	43 (71.7%)
30歳代	85 (100%)	10 (11.8%)	75 (88.2%)
40歳代	119 (100%)	22 (18.5%)	97 (81.5%)
50歳代	171 (100%)	37 (21.6%)	134 (78.4%)
60歳代	184 (100%)	44 (23.9%)	140 (76.1%)
70歳代以上	107 (100%)	30 (28%)	77 (72%)



【参考】文化庁 文化に関する世論調査（令和元年度調査）

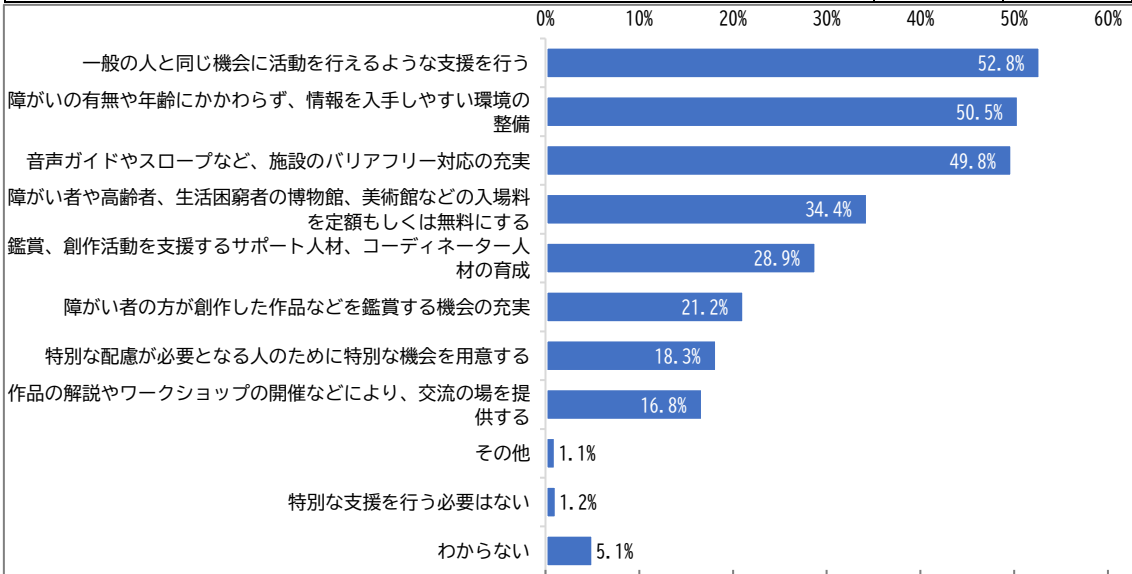


問15 文化芸術活動を通じて、障がい者や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうという考えを実現するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。（回答はいくつでも）

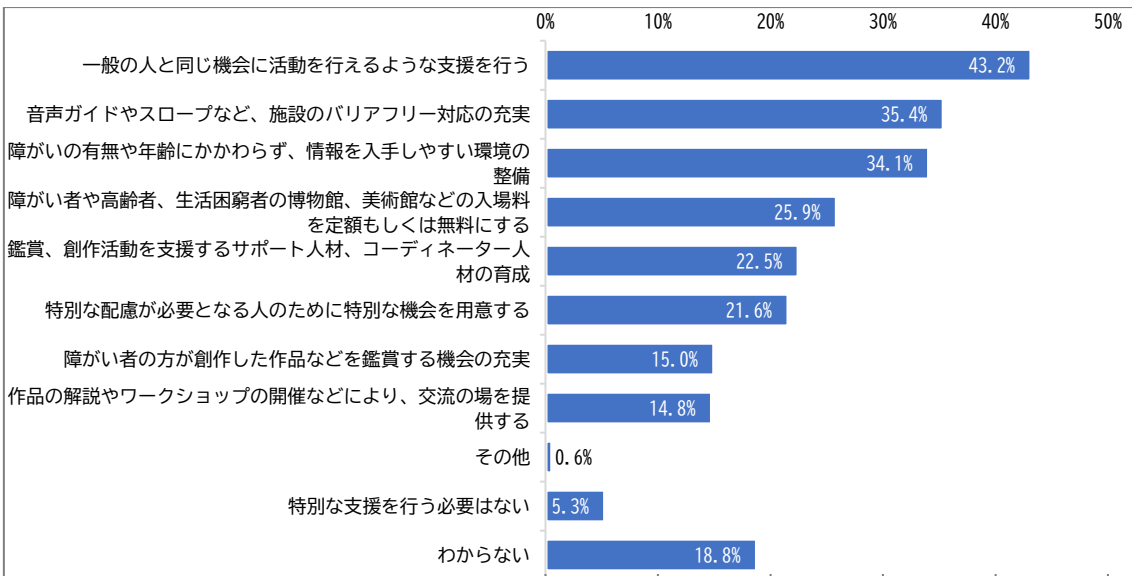
「一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援を行う（52.8%）」と答えた方が最も多く、次いで「障がいの有無や年齢にかかわらず、情報を入手しやすい環境の整備（50.5%）」「音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対応の充実（49.8%）」となりました。

選択肢	回答数	割合
一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援を行う	384	52.8%
障がいの有無や年齢にかかわらず、情報を入手しやすい環境の整備	367	50.5%
音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対応の充実	362	49.8%
障がい者や高齢者、生活困窮者の博物館、美術館などの入場料を定額もしくは無料にする	250	34.4%
鑑賞、創作活動を支援するサポート人材、コーディネーター人材の育成	210	28.9%
障がい者の方が創作した作品などを鑑賞する機会の充実	154	21.2%
特別な配慮が必要となる人のために特別な機会を用意する	133	18.3%
作品の解説やワークショップの開催などにより、交流の場を提供する	122	16.8%
その他	8	1.1%

特別な支援を行う必要はない	9	1.2%
わからない	37	5.1%
合計	2,036	—
回答者数（無回答除く）	727	—



【参考】文化庁 文化に関する世論調査（令和元年度調査）

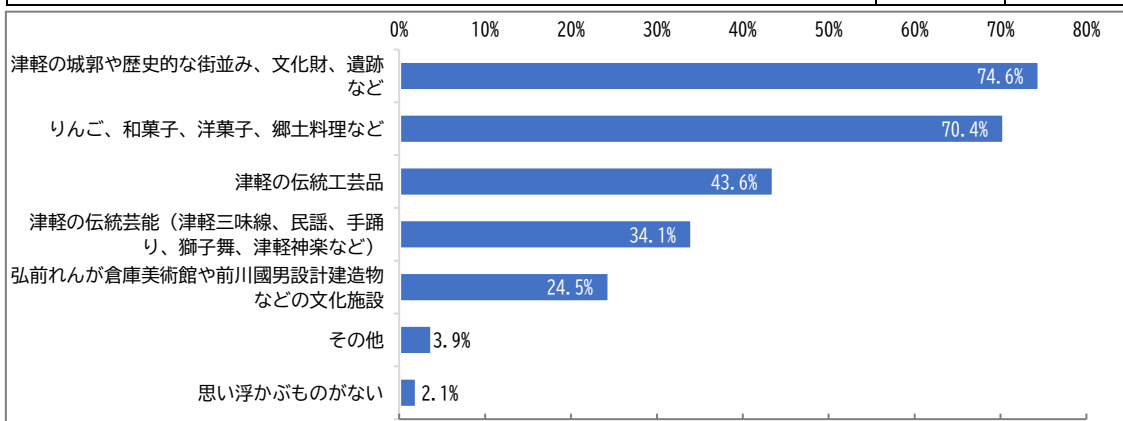


◆当市の文化芸術と観光との親和性について

問16 あなたが市外の友人・知人に当市の文化芸術的な観光スポットやおすすめの名産品を聞かれたとき、どのようなことを思い浮かべますか。(回答はいくつでも)

「津軽の城郭や歴史的な街並み、文化財、遺跡など(74.6%)」と答えた方が最も多く、次いで「りんご、和菓子、洋菓子、郷土料理など(70.4%)」となりました。

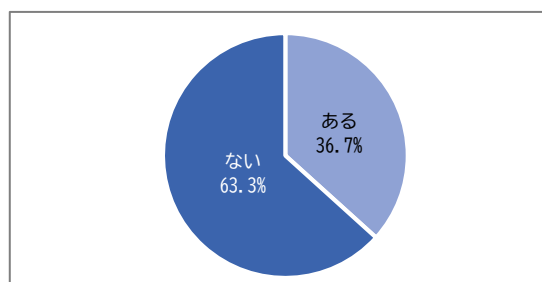
選択肢	回答数	割合
津軽の城郭や歴史的な街並み、文化財、遺跡など	542	74.6%
りんご、和菓子、洋菓子、郷土料理など	512	70.4%
津軽の伝統工芸品	317	43.6%
津軽の伝統芸能(津軽三味線、民謡、手踊り、獅子舞、津軽神楽など)	248	34.1%
弘前れんが倉庫美術館や前川國男設計建造物などの文化施設	178	24.5%
その他	28	3.9%
思い浮かぶものがない	15	2.1%
合計	1,840	—
回答者数(無回答除く)	727	—



問17 (1) 市外の文化施設や文化芸術作品、文化芸術イベント等で楽しかった、またはもう一度訪れたいと思った場所、イベントはありますか。

「ある」と答えた方の割合は36.7%、「ない」と答えた方の割合は63.3%となりました。

選択肢	回答数	割合
ある	262	36.7%
ない	452	63.3%
合計(無回答除く)	714	100%



「①ある」を選択された方にお聞きします。

(2) それはどんな場所、イベントですか。

(3) どのような点が気に入りましたか。

主な回答は以下のとおりです。

- ・青森県立美術館：常にシャガール・アレコがある安定感の中での奈良美智特集。
- ・十和田市現代美術館：家族で楽しめる点。
- ・おたる美術館他2ヶ所：3ヶ所セットチケット。
- ・角館市平福美術館：展示物の種類があまり多くなく、じっくり1つの絵を鑑賞できること。
- ・宮沢賢治記念館：作品にちなんだかわいい像や建物があり、作品内に自分もいる気持ちになった。
- ・宮城県美術館：国宝展示や「若沖」「ミュシャ」の展覧会。
- ・金沢の美術館：城との対比がおもしろい。
- ・森美術館（東京都）：いつも斬新な美術展をしていて面白い。非日常的。少々高くても見たいと思う。
- ・国立西洋美術館：メジャーな作品の展示会をよくやっている。
- ・都内美術館、ビッグサイト、ハロウィン etc：セッティング。古いもの新しいものアニメなどが世代やジャンルにこだわらない点。
- ・箱根彫刻の森美術館：彫刻だけでなく楽しめる。一日いても足りないくらいだった。
- ・ルーブル美術館（フランス）、ルツェルン美術館（スイス）：写真撮影ほとんど自由。市民の寄付で高価な絵画を収集している。
- ・田舎館駅 GOMA アート：外観とのギャップ、細部までアートゲリラの創作、話題性、映え性。
- ・吉田初三郎鳥瞰図展（八戸市）：その機会でないとも見ることができない図を集めての展示。
- ・鳥の羽の展示（秋田市）：普段目にする事が少ない自然の造形美を間近で見れること。
- ・スタジオジブリ展示会：色々なテーマに則した展示をしていたこと。
- ・世界の有名絵画のコピー展：本物を見てみたいと思うようになる。
- ・横浜トリエンナーレ：様々な表現を感じられるところ。色々な刺激をうけられた。
- ・瀬戸内美術祭：いろんな島をめぐるながらアートを楽しめた。
- ・東京で活動する芸術家の作品展：縄文工器を題材にした作品があって特別感を感じた。
- ・直島（香川県）：美術と土地が一体化し、かつクリエイティブな活動や作品が体感できる。
- ・日展：秀逸作が直に鑑賞可能。
- ・横手市まんが美術館：なつかしいマンガに出会える。
- ・石ノ森萬画館：少年の頃の思い出を堪能できた。
- ・八戸ブックセンター：珍しい公営書店で、ガイドをつけたらますます楽しめた。
- ・野外ライブイベント：三内丸山遺跡とライブ会場が隣接しており、非常に独特で良かった。
- ・屋外ロックフェスタ（黒石市）：自然百景から一体感有り。

- ・南部のジャズフェスティバル：屋外の広場で自由に感じることができる。
- ・いしがきミュージックフェスティバル（盛岡市）：街中に音楽が溢れ出すというコンセプトの通り街中いろんな所で多ジャンルの音楽に触れられる。
- ・仙台市定禅寺ジャズフェス：街中が音楽一色。気軽に参加できる。
- ・東京 コジファントウツテ(オペラ)：演出家による作品の解説があり良かった。
- ・津軽弁の日：言葉は文化の源泉なので若い世代に継承してほしい。行政としても。
- ・三内丸山遺跡のなぞときイベント：子どもと行くきっかけになったし、楽しかったし、もっと知りたいと思った。
- ・なまはげ館：体験ができる。
- ・おたる運河：外人さんのガイド。
- ・草津温泉の湯畑：無料の観光スポットで見ごたえがある。
- ・札幌よさこいソーラン祭り：複数箇所での同時開催形式。
- ・はこだてクリスマスファンタジー：海に浮かぶ巨大ツリーと花火。
- ・小岩井農場：多彩なイベント、工作作り、動物自然との触れ合い、夜は星空観察など。
- ・仙台いろは横丁：大人がわくわくする街の迷路だった点、探検している感じになれた点。
- ・大阪市環境局舞州工場の見学：フンデルトヴァッサーによる建築がすばらしい。
- ・小峰城跡、多賀城跡他：小峰城は歴史的にも分かり易く、石垣も美しく大変好印象。
- ・高畠ワイナリー（山形県）：収穫祭のおまつりを2~3日行う。車も無料で停められ、キャンプして飲んでいる方もいた。
- ・キリタンポフェスティバル(大館市)：一度に複数の郷土料理を食べ比べることが出来る。
- ・田子町べこまつり：田子産牛を焼肉にして食べれるイベントで町が主催しているもの。町の特産を拡産しながら人々には味で満足してもらうもので、町の取り組みが成功している点。

その他、市が取り組む文化芸術施策に対しての意見・要望

主な回答は以下のとおりです。

【市の文化芸術施策について】

- ・弘前には魅力的なものがたくさんあると思っているのもっと身近に感じられたらいいのにと常々思っています。
- ・特定の分野（歴史）で世代（老人、子育て世代）に偏ったものが多く感じる。既存のコンテンツを活かしているということかも知れないが、例えば自然科学に対しての知見が入っていないのは残念な感じもある。
- ・自治体が取り組む事業全てにおいて各部署との連携に不備を感じる。そこは“すぎるほど”取り組んで市民に分かりやすくなるレベルになると思う。
- ・若人の可能性をのばせる支援、プランが望まれる。
- ・市主催の文化芸術振興事業を増やしてほしい。
- ・市の担当者は2～3年で異動になるので、腰を据えて事業に取り組めない。その結果、前例踏襲になってしまっているのではないか。
- ・市民文化祭の活動がマンネリ化している。新しい団体や活動を増やしてほしい。
- ・行きたくなる要素を加える。インパクトのある企画。利便性のパッケージ。（交通、食等）利用したくなる施設。
- ・地域の文化芸術を継承するためには後継者の育成が大切だと思っています。
- ・今は、広めるよりカタチがなくならないことに重視していただければと…。自由に歩けるようになったら見て聞いて参加して楽しみたいです。
- ・城と歴史を大切にしてほしい。
- ・図書館、弘前公園を大事にしてほしいです。
- ・青森県立美術館で開催されているような、少しマニアックな展示を弘前でも見てみたいです。それなら冬でも足を運びやすいので。
- ・移動美術館をやってもらいたい。
- ・最近あまり開催されていないクラシックコンサート。弘前城の有効活用。大学と連携してもっと文化イベントを考えていくべき。
- ・年に1回位外国のオーケストラ呼んでクラシックコンサートをやってほしい。
- ・街の中にピアノを設置して欲しい。
- ・バレエが見たい。昔文化庁のバレエが市民会館に来ました。オンラインでもいいですが、チケットを買ってわざわざ見に行くというのがいいですね。
- ・市が取り組む文化芸術施策に参加できるボランティアや就職に就くことができるようにしてほしい。
- ・ル・コルヴィジェの映画を（文化センターや）市民会館で流して下さい。前川國男さんをもっとアピールしてほしい。
- ・弘前のカラーは若干薄めでよいので、オンライン配信やPCやスマホのコンテンツに特化

- したインドアな人でも参加、作成できるイベント等により力を入れてほしい。
- ・いつも青森市へコンサートや観劇に行くことが多いので、弘前でもコンサートなどを行ってほしいです。宝塚などの演劇もみたいです。
 - ・小さなものでよいのでイベント回数を増やして欲しい。毎週どこかのポケットパークでイベントを開ける様に工夫してもらいたい。
 - ・ストリートジャズ or ダンスフェス開催。シールドと共に楽しむ等。
 - ・50代以上、中高年のヒップホップレッスンを行ってほしい。
 - ・30年前の話ですけど月1回パッチワーク、ステンドグラスなどの教室を岩木町役場で行っていました。今は習いたくてもないような気がします。
 - ・桜ミクのコラボは定着して欲しい。
 - ・大森勝山遺跡をもっと活用できたら良い。令和元年に行われた北辰学区PTA三校合同研修会での福眞氏による講演会が非常に興味深く、もっと市民に広めてほしいと思った。
 - ・小規模のクラフト展を市内のあちこちでやってほしい。個人でアクセサリーやパン、手作り品などやっている人がたくさんいるので冬でも屋内でやってほしい。
 - ・各地域住民との交流の場があってほしい（トランプ、花札等々）。
 - ・駅前公園～土手町の自由通路大好き。散歩しています。今よりより多くイベントに利用したら・・・。
 - ・自衛隊、警察の音楽隊のイベントを増やして欲しい。
 - ・幅広い年齢層で楽しめるような演劇やミュージカル、演奏会などの公演がもっと増えるとうれしく思う。
 - ・毎年テーマを求めてあらゆる活動をそのテーマに結びつけて行う。
 - ・市内観光において実際目で見て楽しめる場所または勉強になる場所がない。もっと立派な歴史を持っているのだから会津の様に頑張ってもらいたい。
 - ・弘前が好きなので県外からたくさんの方が遊びに来られる活気にあふれる市になってほしいです。
 - ・文化、芸術はすきんだ人々の心をきれいにしてくれるので、ポジティブな進行をのぞんでいます。

【子どもと文化芸術について】

- ・不公平感のない施策を未来ある子どもに投資してほしい。
- ・機会がないと芸術に触れることがないと思うので、子供達が体験、鑑賞など出来る機会をつくれたら良いのでは！
- ・子どもたちに本物を見たり体験できる機会を多くつくってほしい。中途半端な事はしないで。
- ・子どもに文化芸術に触れさせたいが母子家庭でお金がなくイベントなど行う休日は仕事で休みじゃない。

- ・近頃よきこいを学校でもよくやるようですが、もっと地元のを教えてほしい。特に獅子舞は消えつつある気がします 県外のよきこいよりも地元芸能の獅子舞や三味線にふれさせて残してほしい。
- ・以前吹奏楽を経験したことから中学・高校のレベルアップの為の講習会を増したら・・・。
- ・市には芸術の進学を目指す中高生にその夢を諦めることのないよう支援をして欲しいと思う。そして市民に対して芸術に対する偏見をなくし身近に感じられるようにしてほしい。
- ・小・中学校の文化部の支援拡充。運動部との差がありすぎる。家庭負担大。学校や人材育成を目的とする活動が施設を使用する際の減免。※郡山市は無料。

【市の文化芸術の発信について】

- ・弘前市の魅力をもっと強く各自治体及び他都道府県にも発信すべきだ。
- ・弘前にいる芸術家たちを有名無名かかわらず何かの形で紹介してほしい。
- ・市役所観光部の活動をもっと広げて伝える。情報発信必要性大。
- ・情報が届いていないので周知できる媒体（例えばTV、ラジオ etc）の活用。そして興味をそそられるイベントの実施をしてほしい。
- ・オンラインメディアを利用して弘前市の伝統文化を国内外にアピールし継承していくのが良いと思います。
- ・綺麗な自然や文化芸術があるのに生かされてなく日々もったいないと感じております。街づくりやイベントを企画するチームにセンスのある人材を設けて、SNSで拡散されるような場所が必要だと思います。
- ・とにかく情報発信が少ない。イベントの告知はしていても当日のアナウンスがない。天気による中止やスケジュール変更等をTwitterなどで発信ほしい。
- ・各種イベントの広報をもっとしてほしい（回覧板など）

【活動場所の不足について】

- ・展覧会を開ける会場が少なくなってきた大変残念だ。
- ・屋内外を問わずに、フリースペースな活動出来る拠点を!!

【文化施設の運営について】

- ・大金を投じてのハコモノはこれ以上不要と思う。
- ・最近、弘前市立図書館の対応がおざなりになっている。今の体制に変わった当初は良かったと思われたのに残念です。
- ・市立図書館で進めているという弘前藩庁日記のスキャン作業とネット公開に期待しています。
- ・図書館があつてうれしい。予約サービスもあって、つづけてほしい。手塚治虫などの漫画

のさらなる充実があるともっとうれしいです。

- ・弘前城の歴史は資料館の説明では分かりづらい。
- ・弘前文化センターのホールに入るまで階段だったので、ご年配の方のためにエレベーターがあったらいいといっていました。
- ・振興も大切ですが、各施設への交通マナーも大切だと思う。先日文化センターの駐車場で右折入庫禁止と書いているのに入る人が多い。クラクションを鳴らす人までいる。弘前市は交通マナーが悪すぎる。他県から来る人に恥ずかしいと思う。これも来なくなる理由の一つだと思う。
- ・ヒロロに劇場（映画も含）をなぜ作らなかったのか。
- ・れんが倉庫見学へ行きたくても駐車スペースが3～4台分よりなく歩くのが大変。はじめから駐車場設置すべきだったのでは？
- ・れんが倉庫美術館の駐車スペースの拡大。市民会館・博物館の障がい者の駐車スペースの不足。
- ・どんなイベントでも駐車場の出入りが楽で、お安い事がとても大切だと思います。
- ・弘前れんが倉庫美術館に県外から訪れたお客様に地元作家をきちんと紹介できるスペース、作品を常設していただきたい。あちこち回らなくても一作品ずつでも展示する空間を用意しておくことが市民としての来弘者へのアピールでありサービスだと考えます。
- ・れんが倉庫美術館や弘前藩歴史館の運営で市財政が破綻するのを心配している。ぜひ対策を取ってほしい。夕張市のようになりたくない。
- ・スイスパスで美術館・博物館の入場料、見学料が無料になった。弘前パスを新設して弘前市内の美術館・博物館を無料に(外国人のみ)又は青森県パスなどの新設。
- ・弘前市立博物館での展示作品をもっと増やしてほしい。(ジャンル・量ともに)
- ・NHKブラタモリ弘前編では市博物館の資料が貴重だとわかりました。今後も資料研究頑張ってください。そして新しく入る市民へも還元をお願いします。
- ・市民会館等の使用料を安くしてもらえると、入場料なども安くなり気軽に利用できると思います。減免措置を充実させてほしいです。
- ・確かに前川建造物は大事ですが余りに多くなると存続させるのが大変だと思うので、1つの作品の中にミニチュアとして残してはどうですか？
- ・堅苦しい建物の中に絵や作品を飾っても、若い人はやって来ないと思います。若い人が入り易い雰囲気での作品を楽しめるような環境が芸術に親しむ為には必要なのではないのでしょうか。又、絵画は市民の目に触れる場所に(市役所・病院・駅等々)飾ってはいかががでしょうか。(市民会館ステンドグラス等ステキだと思います。)
- ・毎年、流鏝馬のイベントを大変楽しみにしております。今後もぜひ続けていただきたいです。(雨の日に当たることが多いですがいつもお疲れ様です。ありがとうございます。)

【その他】

- ・今こそクリエイティブシティ措置。アドバイザーの仲介のもと3～5年計画で町づくりに取り組んでいくとよい。マスコミや新聞などで広く市をPRするべき。
- ・他県の成功モデルなどの例をとり入れ、本気で腰をあげて取り組んでいくべき。若い職員の意見や発想をきく姿勢。田舎体質の改善。思いきった政策を展開する。
- ・高齢者にとっては、施設に行くまでのバスなどがないため動けないのではないか。
- ・冬の催し物は道路状況も悪く除排雪もちゃんとされていない為行けない。
- ・介護が必要な方で介助者の利用促進をアピールしてほしい。一年を通じて利用できる環境を整えてほしい。
- ・自閉症、サバン症候群などの発達障害や統合失調症などの人は、健全な人よりも芸術性が高い。しかしそういう人たちは一般の人より繊細で傷つきやすいため生きづらい。自死を選ぶ人も多い。そういう人たちを大切にすると(働きやすい環境をつくるとか)10～数十年後芸術家が出てきたり芸術が盛んな街になるんじゃないかと思う。
- ・私は他県の出身ですが、弘前には文化芸術に興味のある方が予想以上に多いと感じました。

そのほか、様々なご意見・ご要望をいただきました。いただいたご意見・ご要望は可能な限り今後の市政に活かしてまいります。

アンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。